

「信濃國小縣郡縣村」ノ項ノ次ニ

信濃國北安曇郡大町字南原町、同高見町、同六日町、同下中町、同八日町、同五日町、同下町、同後町、同新町、同九日町、同花茄子、同上
櫻井町、同新櫻井町、同櫻井町、同下櫻井町、同白壁町、同東町、同上中町、同六九町、同西町、同柳町、同十日町、同大門
信濃國諏訪郡中洲村字神宮寺、湖南村字大熊

「石見國邑智郡出羽村」ノ項ノ次ニ

石見國安芸郡波根東村字才ノ神、同上町、同水泉地、同中町、同砂子、同新市、同白井道、同中濱、同難、同古川、同正路、同天島、同江
奥同砂山、同倉野、同田長、同上川内、同屋敷谷

「岩代國耶麻郡喜多方町」ノ項ノ次ニ

岩代國耶麻郡鹽川町
岩代國河沼郡安川村大字渡崎(字洞、同古木ヲ除ク)

○逓信省告示第千五百五十六號

明治三十九年六月逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加ノ來十一月一日ヨリ施行ス

明治四十三年十月二十九日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料
大町長野間	金二十錢	神宮寺茅野間	金五錢
大町松本間	金二十錢	神宮寺湖南間	金五錢
大町東德高間	金十五錢	神宮寺小野間	金十錢
大町豐科間	金十五錢	神宮寺上大門間	金十五錢
長大町東京間	金七十五錢	波根東松江間	金二十五錢
神宮寺松本間	金二十錢	波根東今市間	金二十錢
神宮寺上諏訪間	金五錢	波根東杵築間	金十五錢
神宮寺下諏訪間	金十錢	波根東小田間	金十錢
神宮寺岡谷間	金十錢	波根東大田間	金十錢
神宮寺院尻間	金十五錢		

○逓信省告示第千五百五十七號

明治四十二年逓信省告示第百二十二號外國電報ノ取扱ニ關スル制限中、白露ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス

明治四十三年十月二十九日

逓信大臣 男爵後藤新平

ウルゲ一 同國宛ノ電報ハ同國ニ於テ検査ニ付セラル

○逓信省告示第千五百五十八號

帆船八幡丸外二十艘ニ左ノ信號符字ヲ點附ス

明治四十三年十月二十九日

逓信大臣 男爵後藤新平

信號符字	番	種類	船名	船籍
J L T D	六三七七	帆船	八幡丸	備中國神島外村
L M B F	九〇八〇	帆船	天旗丸	後志國小樽區
L M B G	九〇八一	汽船	浦塩丸	後志國小樽區
L G D R	一一二〇〇	汽船	千代丸	因幡國賀郡市
L G H R	一一二一五	汽船	第十二號安進丸	新濱市
L M W G	一一二五五	汽船	第十二號喜丸	橫濱市
L M R P	一一一六三	帆船	第二國福丸	肥前國浦島村
L M Q C	一一三九〇	帆船	正丸	安藝國大船中野村
L M Q D	一一三九二	帆船	住久丸	安藝國大船中野村
L M Q F	一一三九三	帆船	心勇丸	備後國田熊村
L M Q G	一一三九四	汽船	朝日丸	備後國三庄村
L M Q H	一一三九五	帆船	朝日丸	安藝國大船中野村
L N Q S	一一三六六	帆船	朝日丸	安藝國大船中野村
L P B F	一一三六七	帆船	朝日丸	安藝國大船中野村
L K D M	一一三六二六	帆船	朝日丸	安藝國大船中野村

LKDN	一三六二八	帆	三	丸	鹿後國水俣村	桂田嘉平
LKDP	一三六二九	帆	金	丸	筑後國大牟田町	吉田勇次郎
LKDDQ	一三六三〇	帆	徳	丸	筑後國大牟田町	古賀多市
LKDR	一三六三一	帆	大	丸	鹿後國中田村	小川嘉平
LKKB	一三六六〇	汽	瀨	丸	鹿後國中田村	湖南汽船株式會社
LKMC	一三六六一	汽	神	丸	攝津國住吉村	岸本汽船株式會社

○遞信省告示第千五百五十九號

來十一月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十三年十月二十九日

遞信大臣 男爵後藤新平

名稱 天城郵便局

位 區 岡山縣兒島郡藤戸村

○遞信省告示第千六百十號

來十一月一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ丸龜、和氣及倉敷ノ各電信取扱所ニ於テハ電報配達事務ノ取扱ヲ爲サス

明治四十三年十月三十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

- 丸龜市濱町丸龜停車場(鐵道院)(丸龜局)
- 和氣電信取扱所 岡山縣和氣郡本莊村和氣停車場(同上)(和氣局)
- 倉敷電信取扱所 岡山縣都窪郡倉敷町倉敷停車場(同上)(倉敷局)
- 下市電信取扱所 鳥取縣東伯郡達飯村下市停車場(同上)(下市局)

○遞信省告示第千六百六十一號

岡山縣備前國兒島郡味野町立同町沖合地蔵ヶ瀬浮標ハ修繕ノ爲メ本年十月二十一日ヨリ十一月二

十日迄三十一日間撤去ノ旨同縣ヨリ報告セリ

明治四十三年十月三十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千六百六十二號

來十一月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務及電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年十月三十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

- 出羽郵便局 島根縣邑智郡出羽村 區 島根郵便局 島根縣八束郡竹矢村

○遞信省告示第千六百六十三號

明治三十三年ハ遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ來十一月十一日ヨリ施行ス

明治四十三年十月三十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

「出雲國八束郡玉湯村」ノ項ノ次ニ

出雲國八束郡竹矢村大字八幡字灘分、同山本、大字馬場字馬場

「石見國鹿足郡津和野町」ノ項ノ次ニ

石見國邑智郡出羽村大字出羽字町、大字三日市字町

○遞信省告示第千六百六十四號

明治三十九年ハ遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ來十一月十一日ヨリ施行ス

明治四十三年十月三十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外	一通話ノ通	加入區域外	一通話ノ通
通話區域	常電話料	通話區域	常電話料
長出羽安來間	金二十五錢	出羽莊原間	金二十五錢
長出羽松江間	金二十五錢	出羽今市間	金二十五錢
長出羽美保間	金三十五錢	出羽杵築間	金二十五錢
出羽失道間	金二十五錢	出羽小田間	金二十五錢
		出羽温泉津間	金二十五錢

出羽川本間	金二十五錢	馬場境間	金二十錢	長馬場益田間	金五十錢
出羽江津間	金二十錢	馬場米子間	金十五錢	長馬場青原間	金五十錢
出羽濱田間	金二十錢	馬場安來間	金十錢	長馬場津和野間	金六十錢
出羽三隅間	金二十五錢	馬場松江間	金十錢	馬場掛屋間	金五錢
出羽益田間	金二十五錢	馬場美保間	金二十錢	馬場荒島間	金十錢
長出羽青原間	金二十五錢	馬場穴道間	金十五錢	馬場大東間	金十五錢
長出羽津和野間	金二十五錢	馬場莊原間	金二十錢	馬場横田間	金二十錢
長出羽大東間	金二十五錢	馬場今市間	金二十錢	馬場三成間	金二十錢
長出羽横田間	金二十五錢	馬場村集間	金二十錢	馬場三刀屋間	金二十錢
長出羽三成間	金二十五錢	馬場小田間	金二十五錢	馬場掛合間	金二十錢
長出羽三刀屋間	金二十五錢	馬場大田間	金二十五錢	馬場原間	金二十五錢
長出羽掛合間	金二十錢	馬場大森間	金二十五錢	馬場赤名間	金二十錢
長出羽原間	金二十錢	長馬場大森間	金二十五錢	長馬場赤名間	金二十錢
長出羽赤名間	金二十錢	長馬場温泉津間	金二十五錢	長出羽木次間	金二十五錢
長出羽木次間	金二十五錢	長馬場川木間	金二十五錢	長出羽廣瀬間	金二十五錢
長出羽廣瀬間	金二十五錢	長馬場江津間	金二十五錢	長出羽平田間	金二十五錢
長出羽平田間	金二十五錢	長馬場濱田間	金四十五錢	長出羽馬場間	金二十五錢
長出羽馬場間	金二十五錢	長馬場三隅間	金四十五錢		

○逓信省告示第千六百六十五號

明治四十一年七月逓信省告示第六百六十三號中第一號勸業債券ノ部ニ「額面千圓以上ノ債券ニ對シテハ千圓迄ヲ加フル毎ニ一圓五十錢ヲ加フ」ヲ、同第二號勸業債券ノ部ニ「額面千圓以上ノ債券ニ對シテハ千圓迄ヲ加フル毎ニ五十錢ヲ加フ」ヲ加ヘ本日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十月三十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千六百六十六號

來十一月一日ヨリ明治四十二年逓信省告示第六百七號外國電報料金表中左ノ逓改正ス
明治四十三年十月三十一日 逓信大臣 男爵後藤新平

第一表中「本邦内地(韓太)」發外國電報一語料金ヲ「本邦内地、朝鮮又ハ樺太發外國電報一語料金」ト改ム

同表 Asia (亞細亞地方)ノ部中「Korea (韓國)」ノ項ヲ削ル

同表 Asia (亞細亞地方) China (清國)ノ部中「Shantung (山東)」及「Manchuria (滿洲)」ノ二項ヲ左ノ逓改ム

Shantung, excluding Japanese Station at Chefoo (山東芝罘本邦局ヲ除ク)

上海 郵局
Ookko
上海 郵局
Ookko

Manchuria (滿洲)

上海 郵局
Ookko

同表 Asia (亞細亞地方)ノ部中「Bokhara (ボクハラ)」ノ項ノ下浦羅斯德線又ハ「キヤクタ」線料金「一〇」ヨリ「〇・五」ニ改ム

第二表 Asia (亞細亞地方)ノ部中「Korea (韓國)」ノ項ヲ削ル

同表同部中「Amoy (廈門)」ノ項ノ前經過線路名海底線ヲ「川石山ヨリ海底線」ト改ム

同表同部中「Japan, including Sakhalin (本邦内地(樺太))」ノ「Japan, including Korea and Sakhalin (本邦内地(朝鮮及樺太))」ト改ム

同表 Asia (亞細亞地方) China (清國)ノ部中「Shantung (山東)」及「Manchuria (滿洲)」ノ二項ヲ左ノ逓改ム

Shantung, excluding Japanese Station at Chefoo (山東芝罘本邦局ヲ除ク)

川石山ヨリ
陸線
Ookko
上海 郵局
Ookko

川石山ヨリ 川石山ヨリ海底線 浦羅斯德線

上海ヨリ陸 上海浦及佐 世保大連線 又ハ本邦内 地朝鮮間海 底線

Manchuria(滿洲)	0.580	0.580	0.580	1.210
Japanese Station(本邦局所在地)	0.580	0.580	0.580	1.210
Other places(其ノ他各地)	0.580	0.580	1	1.210

同表中經過線路名「沖繩線」ヲ「本邦内地臺灣間海底線」ト改メ

「第三表」ヲ削ル

第四表佐世保大連線經由 Asia (亞細亞地方)ノ部中「Japan, including Sakhalin(本邦内地含マツ)」ノ項ヲ削リ「Formosa (臺灣)」及「Other Countries, excluding Korea (其ノ他諸國除キ)」ノ二項ヲ左ノ通改メ

Formosa(臺灣)

上 蒲 0.580

Other Countries(其ノ他諸國)

浦羅斯德線又ハ「キアツタ」線 (第一表掲載) (モノニ同ク) 上 蒲 0.580

同表中「佐世保大連線經由」ヲ「佐世保大連線又ハ本邦内地朝鮮間海底線經由」ト改メ

同表清國陸線經由 Asia (亞細亞地方)ノ部中「Japan, including Sakhalin (本邦内地含マツ)」ヲ「Japan, including Korea and Sakhalin(本邦内地朝鮮及樺太)」ト改メ「Korea (韓國)」ノ項ヲ削ル

第四表「第三表」ト改メ

「第五表」ヲ削ル

○逓信省告示第千六百六十七號

來十一月一日ヨリ明治四十二年逓信省告示第千六百八號外國新聞電報料金表中左ノ通改正メ

明治四十三年十月三十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

第一表中「本邦内地(樺太)」發外國新聞電報「語料金」ヲ「本邦内地朝鮮又ハ樺太發外國新聞電報「語料金」ト改メ

同表 Asia(亞細亞地方)ノ部中「Korea(韓國)」ノ項ヲ削ル

同表 Asia(亞細亞地方)China(清國)ノ部中「Shantung(山東)」ノ項ヲ左ノ通改メ

上 海 0.580

Shantung, excluding Japanese Station at Chefoo(山東芝罘本邦局ヲ除ク)

同表同部中「Manchuria(滿洲)」ノ項ヲ削ル

第二表 Asia(亞細亞地方)ノ部中「Korea(韓國)」ノ項ヲ削ル

同表同部中「Amoy(廈門)」ノ項ノ前經過線路名「海底線」ヲ「川石山ヨリ海底線」ト改メ

同表同部中「Japan, including Sakhalin(本邦内地含マツ)」ヲ「Japan, including Korea and Sakhalin(本邦内地朝鮮及樺太)」ト改メ

同表 Asia(亞細亞地方)China(清國)ノ部中「Shantung(山東)」及「Manchuria(滿洲)」ノ二項ヲ左ノ通改メ

Shantung, excluding Japanese Station at Chefoo(山東芝罘本邦局ヲ除ク)

川石山ヨリ 川石山ヨリ 陸線 0.580 0.580

Manchuria(滿洲)
Japanese Stations(本邦局所在地)

同表中經過線路名沖繩線ヲ本邦内地臺灣間海底線ト改メ

第三表ヲ削ル

第四表佐世保大連線經由 Asia(亞細亞地方)ノ部中 Japan, including Sakhalin(本邦内地(樺太ヲ含ム)ノ項ヲ削リ「Formosa(臺灣)」及「Other Countries, excluding Korea(其ノ他諸國(韓)ノ)」ノ二項ヲ左ノ通改メ

Formosa(臺灣)

Other Countries(其ノ他諸國)

同表中「佐世保大連線經由」ヲ「佐世保大連線又ハ本邦内地朝鮮間海底線經由」ト改メ

第四表ヲ第三表ト改メ

第五表ヲ削ル

○統監府告示第二百二十六號(官報十月一日)

明治四十三年九月二十八日ヨリ左記郵便所ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年九月二十六日

統監 子爵寺内正毅

上海線及佐世保大連線又ハ本邦内地朝鮮間海底線

○nicoo

上海線

○nicoo

上海線

同上

浦羅新線又ハ「キアタ」線、
第一表掲載ノモノニ同シ

○統監府告示第二百二十七號(官報十月一日)

明治四十年三月統監府告示第四十三號中朝鮮京畿道坡州郡新屬面臨津鎮ト同道長湍郡津東面東柱院トノ間及明治四十二年三月統監府告示第二十二號中朝鮮平安南道安州郡青山面元一里ト同道同郡同面余北里トノ間水底電線區域ハ之ヲ廢止ス

明治四十三年九月二十六日

統監 子爵寺内正毅

○統監府告示第二百二十八號(官報十月五日)

統監府令第六十號ニ依リ發行スル紀念郵便繪葉書ノ種類、定價及發賣期日左ノ如シ

明治四十三年九月二十八日

統監 子爵寺内正毅

種類 二枚一組

一神功皇后ト香椎宮ノ圖

一内地及朝鮮ノ兒童遊戲ノ圖

定價 金十錢

發賣期日 明治四十三年十月一日

○統監府告示第二百二十九號(官報十月五日)

朝鮮總督府始政紀念ノ爲左ノ通特殊通信日附印ヲ使用ス

明治四十三年九月二十八日

統監 子爵寺内正毅

一 使用局所名

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 京城郵便局 | 光化門郵便局 | 南大門郵便局 | 西大門郵便局 |
| 龍山郵便局 | 仁川郵便局 | 開城郵便局 | 永登浦郵便局 |
| 水原郵便局 | 江景郵便局 | 公州郵便局 | 大田郵便局 |
| 清州郵便局 | 祥山郵便局 | 全州郵便局 | 釜山郵便局 |

- 馬山郵便局 晉州郵便局 大邱郵便局 海州郵便局
- 平壤郵便局 鎮南浦郵便局 安州郵便局 新義州郵便局
- 義州郵便局 平壤大和町郵便電信取扱所 釜山本町郵便取扱所

- 使用期日 明治四十三年十月一日
- 使用方法 使用期日ニハ主トシテ第二種郵便物ニ押捺ス 使用期日及使用期日經過後三日間内ニ於テ郵便物以外ノ物件ニ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シ之ニ特殊通信日附印ノ押捺ヲ希望スルモノニ對シテハ特ニ其ノ需メニ應スルコトヲ得
- 形式



平壤大和町郵便電信取扱所ハ平壤名ノ日附印ヲ釜山本町郵便取扱所ハ釜山名ノ日附印ヲ用ウ

○朝鮮總督府告示第一號(官報十月十日)

朝鮮總督府內務部地方局土木課派出所名稱位置左ノ通定

明治四十三年十月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

名稱	位置	名稱	位置	名稱	位置
平壤派出所	平安南道	長興派出所	全羅南道	鎮南浦派出所	平安南道
沙里院派出所	黃海道	馬山派出所	慶尙南道	烏致院派出所	忠清南道
水原派出所	京畿道	大邱派出所	慶尙北道	順天派出所	全羅南道
天安派出所	忠清南道	慶州派出所	慶尙北道	晉州派出所	慶尙南道
全州派出所	全羅北道	成興派出所	成鏡南道	永興派出所	成鏡南道
羅州派出所	全羅南道	清津派出所	成鏡北道	蒼坪派出所	成鏡南道

○朝鮮總督府告示第二號(官報十月十日)

朝鮮總督府鐵道局事務所名稱位置及所管區域左ノ通定

朝鮮總督 子爵寺內正毅

名稱	位置	管轄
龍山保線事務所	龍山	釜山西大門間(京義線龍山起點至羅州六十餘二五ノ線路ヲ含ム)永登浦仁川間島
平壤保線事務所	平壤	京義線
平壤建設事務所	平壤	京義線及鎮南浦間
平壤建設事務所	平壤	自羅州至龍岩浦鴨綠江ヲ中心トシテ其ノ兩側ニ屬間
鴨綠江建設事務所	龍山	龍山元山間
龍山建設事務所	龍山	大田水浦間及群山支線
大田建設事務所	大田	

○朝鮮總督府告示第三號(官報十月十日)

朝鮮總督府鐵道局所屬工場名稱及位置左ノ通定

朝鮮總督 子爵寺內正毅

名稱	位置	兼
草梁工場	草梁	兼二浦工場
龍山工場	龍山	

○朝鮮總督府告示第四號(官報十月十日)

朝鮮總督府通信官署官制施行ノ際事務承繼方左ノ通定

明治四十三年十月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

- 一 統監府通信管理局ノ事務中出納課ノ現業事務ハ朝鮮總督府郵便爲替貯金管理所之ヲ承繼シ其ノ他ノ事務ハ朝鮮總督府通信局之ヲ承繼ス
- 二 内部所管及理事廳所管電氣事業ノ監督ニ關スル事務及度支部所管無線電信ニ關スル事務並光濟號ノ事務ハ朝鮮總督府通信局之ヲ承繼ス
- 三 度支部所管航路標識管理所ノ事務ハ朝鮮總督府航路標識管理所之ヲ承繼ス
- 四 農商工部所管觀測所及測候所ノ事務ハ朝鮮總督府觀測所及測候所之ヲ承繼ス
- 五 統監府通信官署官制ニ依ル郵便局ハ朝鮮總督府通信官署官制ニ依ル郵便局トシ各其ノ現業事務ヲ承繼ス
- 六 左記ノ管理事務分掌郵便局ノ管理事務ハ左記區別ニ依リ各其ノ下記ノ管理事務分掌郵便局之ヲ承繼ス
 - 京城郵便局 分掌受持區域全部 但シ黃海道ハ延安及白川二郡ノミニ限ル
 - 仁川郵便局 分掌受持區域全部 但シ黃海道ハ海州及釜津二郡ノミニ限ル
 - 群山郵便局 分掌受持區域全部
 - 釜山郵便局 分掌受持區域全部
 - 水浦郵便局 分掌受持區域全部
 - 元山郵便局 分掌受持區域全部
 - 清津郵便局 分掌受持區域全部
 - 平壤郵便局 分掌受持區域全部
 - 新義州郵便局 分掌受持區域全部
 - 京城郵便局 分掌受持區域中黃海道 但シ延安及白川二郡ヲ除ク
 - 仁川郵便局 分掌受持區域中黃海道 但シ海州及釜津二郡ヲ除ク

- 七 統監府通信官署官制ニ依ル郵便電信取扱所及郵便取扱所ハ朝鮮總督府通信官署官制ニ依ル郵便局トシ各其ノ事務ヲ承繼ス
 - 八 統監府通信官署官制ニ依ル郵便所ハ朝鮮總督府通信官署官制ニ依ル郵便所トシ各其ノ事務ヲ承繼ス
 - 九 統監府通信官署官制ニ依ル郵便、郵便爲替、郵便貯金、電信又ハ電話ノ取扱所ハ何レモ朝鮮總督府通信官署官制ニ依ル取扱所トシ各其ノ事務ヲ承繼ス
- 朝鮮總督府告示第五號(官報十月十日)
 明治四十三年十月一日ヨリ管理事務ヲ分掌スル郵便局並其ノ受持區域ヲ左表ノ通定ム
 明治四十三年十月一日
 管理事務分掌郵便局並其ノ受持區域
 朝鮮總督 子爵寺內正毅

局名	受持區域
京城郵便局	京畿道、忠清南道、忠清北道、全羅北道、黃海道ノ内白川、延安、海州、釜津各郡
釜山郵便局	江原道、歙谷、通川、高城、杆城、襄陽、江陵、三陟、蔚珍、平海、淮陽ノ各郡ヲ除ク
元山郵便局	咸鏡南道、咸鏡北道、江原道ノ内、歙谷、通川、高城、杆城、襄陽、江陵、三陟、蔚珍、平海、淮陽
平壤郵便局	平安南道、平安北道、黃海道、白川、延安、海州、釜津ノ各郡ヲ除ク

○朝鮮總督府告示第六號(官報十月十日)
 外國郵便爲替ノ交換ヲ取扱フ郵便局及其ノ區域左ノ如シ
 明治四十三年十月一日
 朝鮮總督 子爵寺內正毅

外國郵便爲替交換局及其ノ所轄區域表

所轄交換局	所 轄 區 域
京城郵便局	京 畿 道 仁川府及富平、江華、喬桐ノ各郡ヲ除ク 忠清北道
仁川郵便局	忠清南道ノ内仁川府及富平、江華、喬桐ノ各郡 黃海道 延安、白川、金川、平山、瑞興、黃州、新溪、送安、兎山、谷山、鳳山ノ各郡ヲ除ク
群山郵便局	忠清南道ノ内 牙山、溫陽、新昌、禮山、木川、全義、天安、平澤、稷山、懷德、燕岐、公州ノ各郡 江 原 道 通川、高城、杆城、襄陽、江陵、三陟、蔚珍、平海、淮陽ノ各郡ヲ除ク 全羅北道 (青島ヲ除ク)
水浦郵便局	全羅南道巨文島ヲ除ク
釜山郵便局	全羅南道ノ内巨文島 慶尙北道 慶尙南道
平壤郵便局	平安南道
新義州郵便局	平安北道
元山郵便局	江原道ノ内 通川、高城、杆城、襄陽、江陵、三陟、蔚珍、平海、淮陽ノ各郡 咸鏡南道
清津郵便局	咸鏡北道

○朝鮮總督府告示第七號(官報十月十日)

郵便局所ノ郵便、電信、電話及郵便爲替、郵便貯金等ノ取扱時間左ノ如シ

明治四十三年十月一日

朝鮮總督 子爵寺内正毅

郵便

午前六時ヨリ午後十時迄但シ別配達郵便物ハ何時タリトモ之ヲ取扱フ

電信

午前六時ヨリ午後十時迄但シ至急電報ハ何時タリトモ之ヲ取扱フ

電信取扱所ニシテ其ノ取扱時間ヲ制限スルトキハ別ニ之ヲ告示ス

電話通話及呼出

午前六時ヨリ午後十時迄但シ至急電話通話及自働電話機ニ依ル電話通話ハ何時タリトモ之ヲ取扱フ

扱フ

郵便爲替、郵便貯金

九月十一日ヨリ十月三十一日迄 午前八時ヨリ午後四時迄

十一月一日ヨリ翌年二月末日迄 午前九時ヨリ午後四時迄

三月一日ヨリ七月十日迄 午前八時ヨリ午後四時迄

七月十一日ヨリ九月十日迄 午前八時ヨリ正午十二時迄

但シ日曜日大祭日ハ正午十二時迄トス

特別ノ事情ニヨリ必要アルトキハ取扱時間ヲ延伸スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨當

該局所前ニ揭示ス

○朝鮮總督府告示第八號(官報十月十日)

明治四十三年十月一日ヨリ金庫所在地外ノ郵便局及郵便所ニ於テ明治四十三年勅令第四百八號ニ依ル朝鮮總督府及其ノ所屬官署所管歳入金歳出金歳出外現金ノ振替繰替受拂ニ關スル事務ヲ取扱ハシム但シ巡邏船内郵便所ニ於テハ之ヲ取扱ハス

朝鮮總督 子爵寺内正毅

明治四十三年十月一日

○朝鮮總督府告示第九號(官報十月十日)

朝鮮總督府郵便局所ニ於テ取扱フ事務左ノ如シ

朝鮮總督 子爵寺内正毅

明治四十三年十月一日

郵便局

- 一 郵便切手類及收入印紙ノ賣捌並國際返信切手券ノ賣捌及引換
- 二 郵便物ノ引受配達及交付
- 三 郵便爲替、郵便貯金、郵便取立金ノ受拂左ノ事務ヲ取扱フトキ及第二號ノ事務ヲ制限スルトキハ之ヲ告示ス

- 四 電報ノ受付配達及交付
- 五 電話交換
- 六 電話通話及呼出

郵便所

- 一 郵便切手類及收入印紙賣捌
- 二 郵便物ノ引受配達及交付

- 三 郵便爲替、郵便貯金、郵便取立金ノ受拂

左ノ事務ヲ取扱フトキ及第二號ノ事務ヲ制限スルトキハ之ヲ告示ス

- 四 電報ノ受付配達及交付
- 五 電話交換
- 六 電話通話及呼出

電信取扱所

- 一 内外和文電報ノ受付配達及交付

郵便所

- 一 郵便切手類ノ賣捌
- 二 普通及書類通常郵便物ノ引受配達及交付

○朝鮮總督府告示第十號(官報十月十日)

自今朝鮮總督府郵便爲替貯金管理所ニ屬スル郵便振替貯金口座番號冠字「韓國」ヲ「京城」ト改ム從來發行シタル振替貯金拂込書及同拂出書ノ類ニシテ既ニ口座番號冠字ヲ「韓國」ト印刷シタルモノハ當分ノ内其ノ儘之ヲ使用スルコトヲ得

朝鮮總督 子爵寺内正毅

明治四十三年十月一日

○朝鮮總督府告示第十一號(官報十月十日)

自今郵便振替貯金事務ニ關シ朝鮮總督府郵便爲替貯金管理所ニ宛テ差出ス郵便物ニハ其ノ宛名ヲ「京城振替貯金部」ト記載スヘシ
朝鮮總督府郵便爲替貯金管理所ヨリ郵便振替貯金事務ニ關シ發スル書類ニハ其ノ名ヲ「京城振替貯金部」ト記載スヘシ

貯金部「ト略記スルコトアルヘシ

明治四十二年十月十二日 統監府告示第百二十六號ハ之ヲ廢止ス

明治四十三年十月一日

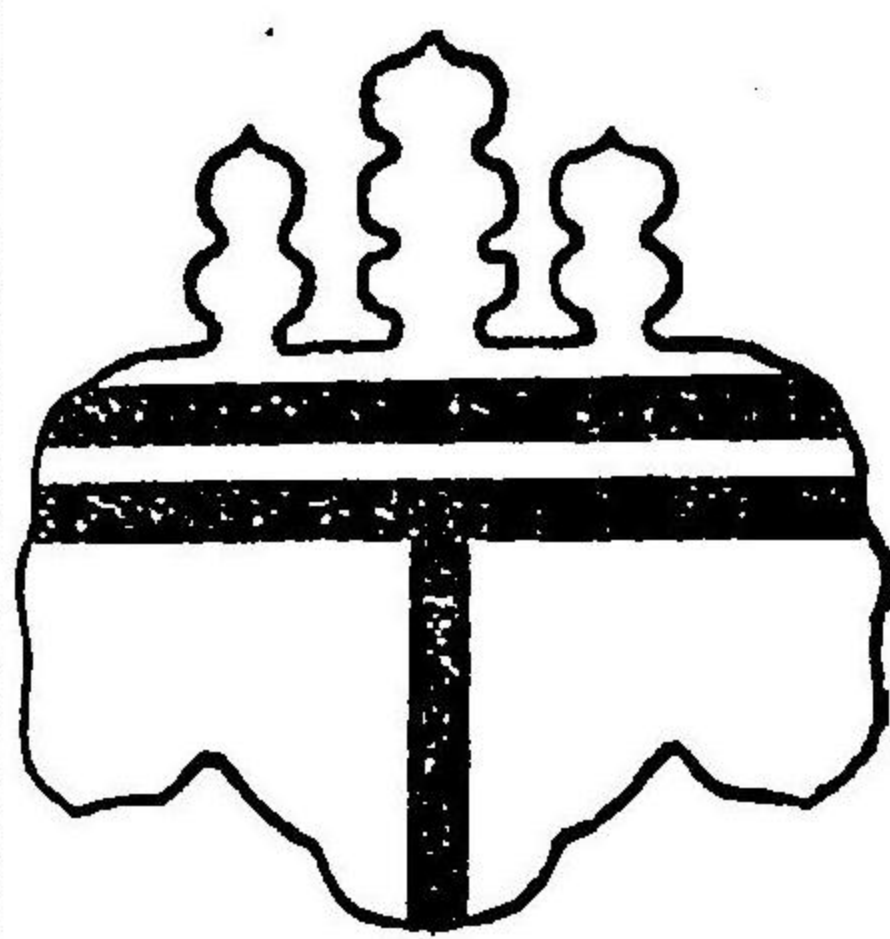
朝鮮總督 子爵寺內正毅

〔參照〕

明治四十二年十月十一日 統監府告示第百二十六號ハ郵便總督府貯金事務ニ關シ統監府運信管理司ニ提出ス郵便物ニ宛名記載方等ナリ

○朝鮮總督府告示第十二號 (官報十月十日)

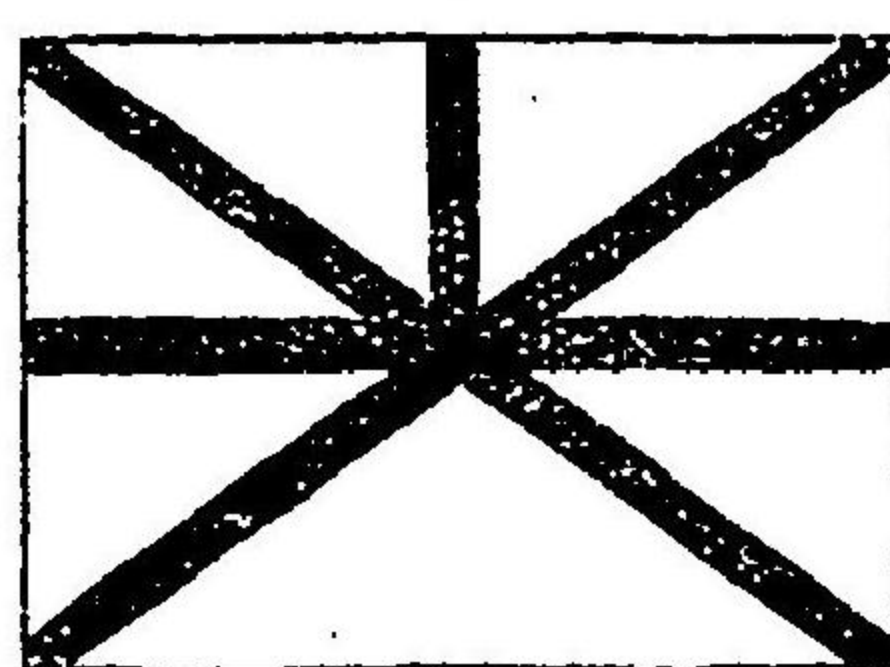
朝鮮總督府通信官署ノ徽章ハ桐章内ニ「丁」字形ヲ表ハレタルモノヲ用ウ但シ航路標識管理所所屬船ノ旗章ハ左ノ通トス
汽船光濟號ハ前項通信官署一般ノ徽章旗ヲ掲クルノ外航路標識視察船ノ任務ニ服スル場合ハ航路標識管理所所屬船ノ徽章旗ヲ掲ケ又稅關監視船ノ任務ニ服スル場合ハ別ニ定ムル稅關旗ヲ掲ケ
通信官署徽章ノ形狀左ノ如シ



航路標識管理所所屬船ノ旗章

- 一 地質 旗布
- 一 幅員 適宜
- 一 徽章 白地ニ赤色ヲ以テ「光」字ヲ表示ス

其ノ形狀
圖ノ如シ



明治四十三年十月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

○朝鮮總督府告示第十三號 (官報十月十二日)
別表ニ指定スル朝鮮總督府通信官署ノ經費ハ明治四十三年九月勅令第四百九號ニ依リ明治四十三年十月分ヨリ各表末ニ指定スル所ノ區別ニ從ヒ渡切ヲ以テ當該局所長ニ交付ス

明治四十三年十月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

第一號表

京畿道

西大門郵便局

南大門郵便局

光化門郵便局

龍山郵便局

開城郵便局

永登浦郵便局

水原郵便局	楊州郵便局	漣川郵便局	麗州郵便局	長湍郵便局	南陽郵便局
江華郵便局	振威郵便局	汶山郵便局	安城郵便局		
忠清南道					
江景郵便局	公州郵便局	洪州郵便局	大田郵便局	禮山郵便局	天安郵便局
連山郵便局	福山郵便局	沔川郵便局	瑞山郵便局		
忠清北道					
忠州郵便局	清州郵便局	沃川郵便局	堤川郵便局	永同郵便局	
全羅南道					
光州郵便局	濟州郵便局	長興郵便局	順天郵便局	興陽郵便局	
全羅北道					
全州郵便局	南原郵便局	錦山郵便局	金堤郵便局	古阜郵便局	淳昌郵便局
慶尙南道					
馬山郵便局	晉州郵便局	蔚山郵便局	密陽郵便局	金海郵便局	河東郵便局
居昌郵便局	巨濟郵便局				
慶尙北道					
大邱郵便局	尙州郵便局	慶州郵便局	安東郵便局	永川郵便局	龜城郵便局
善山郵便局	金泉郵便局	榮川郵便局	浦項郵便局	盈德郵便局	清道郵便局
江原道					
春川郵便局	江陵郵便局	原州郵便局	蔚珍郵便局	鐵原郵便局	
黃海道					
海州郵便局	瑞興郵便局	延安郵便局	沙里院郵便局	黃州郵便局	釜津郵便局
鐵寧郵便局	松禾郵便局				
平安南道					
鎮南浦郵便局	安州郵便局	成川郵便局	德川郵便局	平壤大和町郵便局	順天郵便局
順安郵便局					
平安北道					
義州郵便局	龍岩浦郵便局	定州郵便局	寧邊郵便局	江界郵便局	楚山郵便局
宣川郵便局	中江浦郵便局	博川郵便局	寧邊金剛郵便局		

本表ニ指定スル朝鮮總督府通信官署ニ對シテハ明治四十三年十月朝鮮總督府令第二十一號朝鮮總督府所屬官署經費渡切規則第一條郵便局所ノ項第一號乃至六號九號乃至十一號ノ經費ヲ交付ス

成鏡南道	北青郵便局	松田郵便局	永興郵便局	惠山嶺郵便局	虎島郵便局
成鏡北道	慶興郵便局	會寧郵便局	羅南郵便局	雄基郵便局	北杆坪郵便局
咸鏡南道					
金浦郵便局	抱川郵便局	廣州郵便局	楊平郵便局	利川郵便局	
忠清南道					
定山郵便局	全義郵便局	藍浦郵便局	牙山郵便局		
忠清北道					
鎮川郵便局	報恩郵便局	槐山郵便局			
全羅南道					
谷城郵便局	麗水郵便局	長城郵便局	靈光郵便局	靈巖郵便局	綾州郵便局
海南郵便局	潭陽郵便局	珍島郵便局	咸平郵便局	莞島郵便局	
全羅北道					
咸悅郵便局	鎮安郵便局	泰仁郵便局	龍潭郵便局	高敞郵便局	
慶尙南道					
陝川郵便局	三嘉郵便局	成陽郵便局	固城郵便局	南海郵便局	豐山郵便局
慶尙北道					
慈仁郵便局	軍威郵便局	青松郵便局	醴泉郵便局	星州郵便局	開慶郵便局
江原道					
金化郵便局	淮陽郵便局	杆城郵便局	襄陽郵便局	楊口郵便局	洪川郵便局
平昌郵便局	三陟郵便局	伊川郵便局	通川郵便局		
黃海道					
新溪郵便局	谷山郵便局	安岳郵便局	平山郵便局	殷栗郵便局	

平安南道	陽德郵便局	价川郵便局	中和郵便局	江西郵便局
平安北道	碧潼郵便局	厚昌郵便局	熙川郵便局	龜城郵便局
咸鏡南道	長津郵便局	甲山郵便局	端川郵便局	昌城郵便局
咸鏡北道	鏡城郵便局	穩城郵便局	慶源郵便局	鍾城郵便局
吉州郵便局				茂山郵便局
				明川郵便局

本表ニ指定スル朝鮮總督府通信官署ニ對シテハ明治四十三年十月朝鮮總督府令第二十一號朝鮮總督府所屬官署經費渡切規則第一條郵便局所ノ項第一號乃至七號九號乃至十一號ノ經費ヲ交付ス

第三號表

郵便所
本表ニ指定スル朝鮮總督府通信官署ニ對シテハ明治四十三年十月朝鮮總督府令第二十一號朝鮮總督府所屬官署經費渡切規則第一條郵便局所ノ項第八號ノ經費ヲ交付ス

第四號表

一郵便所

本表ニ指定スル朝鮮總督府通信官署ニ對シテハ明治四十三年十月朝鮮總督府令第二十一號朝鮮總督府所屬官署經費渡切規則第一條郵便局所ノ項第八號中ノ事務費集配費ヲ交付ス

○朝鮮總督府告示第十四號(官報十月十二日)

明治四十三年十月十六日ヨリ平南線平壤鎮南浦間鐵道運輸營業ヲ開始ス其ノ哩程左ノ通
朝鮮總督 子爵寺內正毅

哩程

平壤	大平間	九哩八分	大平	岐陽間	七哩八分
岐陽	眞池洞間	七哩七分	眞池洞	鎮南浦間	九哩

○朝鮮總督府告示第十五號(官報十月十二日)

明治四十三年十月二十一日ヨリ京釜支線富平柵峴間ニ朱安停車場ヲ設置シ一般運輸營業ヲ開始ス其ノ哩程左ノ通
朝鮮總督 子爵寺內正毅

明治四十三年十月五日

哩程

富平	朱安間	三哩四分	朱安	柵峴間	三哩
----	-----	------	----	-----	----

○朝鮮總督府告示第十六號(官報十月十五日)

士民ノ授産教育ノ補助及凶歉救濟ノ資ニ充ツル爲御下賜ニ係ル臨時恩賜金左記ノ通各道府郡ニ配與セリ
朝鮮總督 子爵寺內正毅

明治四十三年十月八日

左記

一 金二百六十三萬七千圓	京畿道府 郡配與額	金八萬三千圓	楊州郡	金四萬三千八百圓	妙徳郡
金百萬圓	仁川府	金五萬三千四百圓	驪州郡	金四萬二千九百圓	報川郡
金五萬三千二百圓	水原郡	金五萬六千五百圓	長湍郡	金四萬一千六百圓	竹山郡
金七萬三千二百圓	廣州郡	金三萬七千六百圓	通津郡	金六萬四千二百圓	楊平郡
金六萬四千五百圓	開城郡	金四萬二千五百圓	坡州郡	金三萬九千圓	安山郡
金六萬八千五百圓	江華郡	金四萬一千圓	利川郡	金四萬一千三百圓	安城郡
金五萬八千八百圓		金三萬六千四百圓	富平郡	金四萬三千四百圓	高陽郡
		金五萬六千五百圓	南陽郡	金三萬九千三百圓	朔寧郡

金三萬二千二百圓	金浦郡	金三萬七千九百圓	清安郡	金四萬二千九百圓	連山郡
金三萬三千九百圓	永平郡	金三萬四千四百圓	永春郡	金三萬六千八百圓	贊皇郡
金三萬四千五百圓	麻田郡	金四萬一千六百圓	永同郡	金三萬九千八百圓	扶餘郡
金四萬一千五百圓	交河郡	金三萬六千圓	黃海道	金三萬一千七百圓	石城郡
金四萬六千九百圓	加平郡	金三萬三千七百圓	延豐郡	金三萬六千圓	莊仁郡
金三萬四千四百圓	龍仁郡	金五萬五千九百圓	陰城郡	金三萬九千七百圓	結城郡
金三萬五千七百圓	陰竹郡	金三萬九千六百圓	文德郡	金三萬九千四百圓	保寧郡
金二萬九千九百圓	振威郡	金三萬一千六百圓	香山郡	金四萬二千圓	海美郡
金三萬四千七百圓	陽川郡	金百四十八萬九千圓	忠清南道	金三萬四千七百圓	唐津郡
金三萬二千圓	始興郡	內詳	忠清北道	金三萬一千八百圓	新昌郡
金三萬六千六百圓	穢城郡	金八萬五千二百圓	忠清北道	金三萬七千三百圓	新昌郡
金三萬四千七百圓	果川郡	金五萬三千五百圓	洪州郡	金三萬二千八百圓	全義郡
金三萬四千七百圓	漣川郡	金三萬八千七百圓	洪州郡	金三萬七千圓	全義郡
金三萬一千九百圓	陽智郡	金三萬九千二百圓	舒川郡	金三萬六千圓	牙山郡
金三萬三千圓	陽城郡	金五萬三千圓	舒川郡	金三萬五千八百圓	牙山郡
金三萬九百圓	喬桐郡	金五萬一千圓	河川郡	金三萬五千四百圓	天安郡
金七十九萬四千圓	忠清北道	金三萬八千九百圓	瑞山郡	金三萬二千四百圓	木川郡
內詳	忠清北道	金三萬九千九百圓	德山郡	金三萬二千四百圓	水川郡
金八萬三千圓	濟州郡	金三萬九千九百圓	德山郡	金三萬一千一百圓	全羅北道
金七萬九千八百圓	忠州郡	金四萬九千圓	林川郡	金三萬一千二百圓	全羅北道
金四萬二千三百圓	沃川郡	金四萬六千圓	恩津郡	金三萬九千八百圓	全羅北道
金四萬七千九百圓	沃川郡	金三萬五千七百圓	泰安郡	金七萬七千八百圓	全羅北道
金三萬八千三百圓	清風郡	金三萬六千六百圓	大興郡	金七萬三千三百圓	全羅北道
金四萬一千圓	槐山郡	金二萬八千五百圓	平海郡	金五萬二千四百圓	全羅北道
金四萬二千圓	報恩郡	金三萬七千九百圓	定山郡	金五萬八千圓	全羅北道
金三萬四千七百圓	丹陽郡	金四萬九千圓	奇陽郡	金五萬四千四百圓	全羅北道
金三萬二千七百圓	懷仁郡	金三萬三千圓	懷仁郡	金三萬八千七百圓	全羅北道

金四萬五千二百圓	錦山郡	金七萬二百圓	豐光郡	金九萬一千五百圓	會州郡
金四萬九千五百圓	益山郡	金六萬六千圓	贊皇郡	金六萬七千三百圓	會州郡
金四萬二千五百圓	羅敏郡	金五萬九千圓	贊皇郡	金六萬三千五百圓	會州郡
金四萬四千六百圓	余海郡	金六萬七千圓	贊皇郡	金五萬九千七百圓	會州郡
金三萬七千三百圓	咸悅郡	金六萬二千圓	長興郡	金八萬二千六百圓	會州郡
金五萬九千二百圓	扶安郡	金五萬六千圓	咸平郡	金四萬八千九百圓	會州郡
金四萬八千五百圓	茂朱郡	金七萬三千圓	海美郡	金四萬九千六百圓	會州郡
金五萬八千七百圓	淳昌郡	金四萬六千三百圓	海美郡	金五萬八千七百圓	會州郡
金六萬四千圓	任實郡	金四萬四千圓	海美郡	金六萬七千二百圓	會州郡
金四萬三千六百圓	鐵安郡	金四萬五千五百圓	海美郡	金四萬二千二百圓	會州郡
金三萬三千九百圓	珍山郡	金四萬九千七百圓	海美郡	金四萬二千二百圓	會州郡
金三萬七千九百圓	萬頃郡	金五萬六千八百圓	海美郡	金三萬六千五百圓	會州郡
金三萬九百圓	龍安郡	金五萬二千圓	海美郡	金四萬二千圓	會州郡
金四萬三千圓	高山郡	金五萬六千圓	海美郡	金四萬一千四百圓	會州郡
金三萬七千六百圓	井邑郡	金四萬四千圓	海美郡	金四萬二千八百圓	會州郡
金三萬七千二百圓	龍淵郡	金五萬六千三百圓	海美郡	金四萬一千圓	會州郡
金三萬七千三百圓	雲峰郡	金四萬七千二百圓	海美郡	金四萬一千圓	會州郡
金四萬九千五百圓	長水郡	金五萬四千四百圓	海美郡	金三萬九千八百圓	會州郡
金五萬二千五百圓	茂長郡	金六萬五千九百圓	海美郡	金三萬九千一百圓	會州郡
金四萬千圓	興德郡	金四萬六千五百圓	海美郡	金四萬七千六百圓	會州郡
金三萬五千圓	高敞郡	金五萬八千八百圓	海美郡	金三萬九千五百圓	會州郡
金百六十九萬四千圓	全羅南道	金七萬五千三百圓	海美郡	金三萬三千六百圓	會州郡
內詳	全羅南道	金三萬六千七百圓	海美郡	金三萬六千五百圓	會州郡
金七萬九千九百圓	水浦府	金四萬三千圓	海美郡	金三萬九千二百圓	會州郡
金七萬五千八百圓	光州郡	金三萬三千圓	海美郡	金三萬九千二百圓	會州郡
金六萬七千七百圓	羅州郡	金二萬一千三百圓	海美郡	金三萬九千八百圓	會州郡
金六萬五千三百圓	羅州郡	內詳	海美郡	金三萬四千圓	會州郡
金七萬九千六百圓	順天郡	金八萬二千六百圓	海美郡	金三萬四千圓	會州郡
		金八萬三千七百圓	海美郡	金六萬三千七百圓	會州郡

金三萬八千五百圓	知禮郡	金四萬二千七百圓	靈山郡	金四萬四千九百圓	金川郡
金四萬一百圓	英陽郡	金三萬七千九百圓	楊口郡	金四萬一千七百圓	新羅郡
金四萬九千一百圓	興海郡	金五萬一千九百圓	巨濟郡	金五萬九千六百圓	松茂郡
金三萬八千六百圓	慶山郡	金四萬三千四百圓	草溪郡	金四萬六千二百圓	殷栗郡
金三萬九千五百圓	慈仁郡	金四萬一千三百圓	昆陽郡	金三萬五千八百圓	魂山郡
金五萬三千四百圓	比安郡	金四萬九千圓	三嘉郡	金六萬八千圓	豐津郡
金四萬一百圓	玄風郡	金四萬八千圓	安義郡	金百十二萬五千圓	江原道府
金五萬一千二百圓	高靈郡	金四萬九千五百圓	山清郡	內 譯	江原道府
金三萬七千六百圓	咸昌郡	金三萬九千圓	丹城郡	金五萬八千二百圓	春川郡
金四萬七千六百圓	長靈郡	金五萬二千六百圓	南海郡	金五萬八千六百圓	洪川郡
內 譯	慶尚南道府	金四萬一千三百圓	龍南郡	金五萬四千五百圓	原州郡
金六萬九千八百圓	蔚山府	金五萬四千圓	龍仁郡	金四萬九千圓	橫城郡
金九萬四千六百圓	馬山府	金二萬八千三百圓	慶尚道府	金四萬六千六百圓	楊口郡
金八萬三千五百圓	晉州郡	金百九萬四千圓	黃海道府	金三萬九千八百圓	楊口郡
金七萬七千八百圓	金海郡	內 譯	蔚山府	金五萬九千圓	楊口郡
金七萬七千二百圓	密陽郡	金九萬九千九百圓	蔚山府	金四萬六千五百圓	楊口郡
金七萬四千五百圓	蔚山郡	金六萬九百圓	蔚山府	金四萬六千八百圓	楊口郡
金五萬六千四百圓	宜寧郡	金五萬二千五百圓	蔚山府	金四萬四千三百圓	楊口郡
金四萬八千八百圓	昌寧郡	金六萬四千九百圓	蔚山府	金四萬四千三百圓	楊口郡
金五萬五千八百圓	居昌郡	金六萬五千八百圓	蔚山府	金五萬四千五百圓	楊口郡
金六萬二千圓	河東郡	金六萬圓	蔚山府	金四萬四千五百圓	楊口郡
金五萬四千六百圓	陝川郡	金五萬一千八百圓	蔚山府	金三萬八千三百圓	楊口郡
金七萬一千五百圓	咸安郡	金五萬五千圓	蔚山府	金三萬四千六百圓	楊口郡
金五萬二千九百圓	咸陽郡	金六萬四千圓	蔚山府	金四萬五千九百圓	楊口郡
金六萬三千二百圓	尙城郡	金五萬二千二百圓	蔚山府	金四萬二千七百圓	楊口郡
金四萬八千圓	梁山郡	金五萬二千四百圓	蔚山府	金三萬五千九百圓	楊口郡
金三萬八千三百圓	夜陽郡	金六萬五千二百圓	蔚山府	金四萬五千三百圓	楊口郡

金三萬六千三百圓	金化郡	金百十四萬九千圓	平安北道府	金九萬九千五百圓	成興郡
金四萬四千四百圓	平康郡	內 譯	平安北道府	金八萬圓	成興郡
金四萬二千圓	鐵原郡	金九萬四千三百圓	義州府	金八萬三千圓	成興郡
金四萬六千二百圓	伊川郡	金六萬四千五百圓	龍川郡	金十一萬八千二百圓	成興郡
金三萬二千七百圓	安峽郡	金七萬七千九百圓	江界郡	金五萬六千五百圓	成興郡
內 譯	平安南道府	金六萬八千四百圓	定州郡	金五萬三千四百圓	成興郡
金四萬九千六百圓	鎮南浦府	金九萬九千五百圓	寧邊郡	金七萬五百圓	成興郡
金十一萬六千四百圓	平壤府	金六萬二千五百圓	宣川郡	金四萬三千二百圓	成興郡
金五萬五千三百圓	中和郡	金五萬三千四百圓	楚山郡	金四萬三千五百圓	成興郡
金五萬四千八百圓	龍岡郡	金四萬四千三百圓	昌城郡	金三萬九千八百圓	成興郡
金六萬七千七百圓	成川郡	金五萬三千九百圓	龜城郡	金四萬八千圓	成興郡
金六萬九千七百圓	順川郡	金四萬二千二百圓	鐵山郡	金六萬四千四百圓	成興郡
金四萬四千圓	祥原郡	金三萬九千六百圓	朔州郡	金五十五萬六千圓	成興郡
金五萬百圓	永柔郡	金四萬七千八百圓	渭原郡	內 譯	成興郡
金六萬三千六百圓	江西郡	金四萬三千八百圓	碧潼郡	金五萬八千五百圓	成興郡
金四萬二千五百圓	安州郡	金四萬二千圓	高山郡	金三萬六千六百圓	成興郡
金五萬三千八百圓	順川郡	金五萬四千八百圓	郭山郡	金八萬七千七百圓	成興郡
金四萬八千圓	价川郡	金四萬五千五百圓	熙川郡	金六萬六千三百圓	成興郡
金五萬七千七百圓	寧遠郡	金四萬二千二百圓	雲山郡	金三萬八千五百圓	成興郡
金四萬八千七百圓	陽德郡	金四萬九千九百圓	博川郡	金四萬三千三百圓	成興郡
金四萬九千五百圓	江東郡	金三萬八千八百圓	泰川郡	金三萬六千三百圓	成興郡
金五萬六千圓	孟山郡	金三萬二千六百圓	厚昌郡	金四萬三千三百圓	成興郡
金四萬二百圓	龜山郡	金八十八萬三千圓	咸鏡南道府	金三萬六千三百圓	成興郡
金五萬四百圓	順安郡	內 譯	咸鏡南道府	金四萬二千圓	成興郡
	德川郡	金四萬七千四百圓	元山府	金四萬二千圓	成興郡

○朝鮮總督府告示第十七號(官報十月十九日)

明治四十三年十月二十一日ヨリ左記郵便所ヲ設置ス
京城黃橋通郵便所ニ於テハ郵便物ノ集配事務ハ之ヲ取扱ハス
寶城郵便所ニ於テハ同時ニ電信事務ヲ取扱ハレム

明治四十三年十月十二日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

京城黃橋通郵便所 京城道京城府京城黃橋通一丁目
寶城郵便所 全羅南道寶城郡寶城邑

○朝鮮總督府告示第十八號(官報十月十九日)

明治四十三年十月二十日限り左記郵便所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便所之ヲ承繼ス

明治四十三年十月十二日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

所名 寶城郵便所 位置 全羅南道寶城郡寶城邑

承繼所名 寶城郵便所

○朝鮮總督府告示第十九號(官報十月十九日)

朝鮮南岸全羅南道魚龍島ニ燈臺及霧笛ノ新設

一 明治四十三年十月十日ヨリ朝鮮南岸全羅南道橫香水道ノ西方ニ當ル長群島中ノ魚龍島ニ建設シタル燈臺ニ於テ毎夜日没ヨリ日出マテ點燈シ又霧笛ハ霧雪其ノ他溟濛ナル天候ニ之ヲ吹鳴ス

一 燈臺ノ位置ハ帝國海軍水路部刊行ノ海圖第三百四十號ニ依レハ左ノ如シ
北緯 三十四度十七分九秒 東經 百二十六度二十八分三十三秒

一 燈塔ハ混凝土造八角形ニシテ白色ニ塗リ其ノ高サ基礎ヨリ燈火マテ二十尺ナリ

一 燈火ハ第六等白色連閃燈ニシテ毎七秒時半ヲ隔テテ二秒時半ノ間ニ二閃光ヲ發シ全度ヲ照輝ス

一 燈火ノ中心ハ高潮平均水面ヨリ高サ三百〇二尺ニシテ晴朝ノ夜ニ際シ水面上十五尺ノ上ニ在ル觀測者ハ二十四海里ノ距離ニ於テ始メテ之ヲ視ルコトヲ得ヘシ

一 霧笛ハ石油發動機ヲ原動力トシ之ニ依リテ空氣壓搾唧筒ヲ運轉セシメ壓搾空氣ヲ以テ毎三十秒時ヲ隔テテ五秒時間吹鳴ス

明治四十三年十月十二日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

○朝鮮總督府告示第二十號(官報十月十九日)

朝鮮南岸全羅南道所里島ニ燈臺及霧笛ノ新設

一 明治四十三年十月十五日ヨリ朝鮮南岸全羅南道麗水半島ノ南東ニ位スル所里島ノ南端ニ建設シタル燈臺ニ於テ毎夜日没ヨリ日出マテ點燈シ又霧笛ハ霧雪其ノ他溟濛ナル天候ニ之ヲ吹鳴ス

一 燈臺ノ位置ハ帝國海軍水路部刊行ノ海圖第三百〇四號ニ依レハ左ノ如シ
北緯 三十四度二十四分四十四秒 東經 百二十七度四十八分四秒

一 燈塔ハ混凝土造六角形ニシテ白色ニ塗リ其ノ高サ基礎ヨリ燈火マテ二十三尺五寸ナリ

一 燈火ハ第四等白色連閃燈ニシテ毎六秒時ヲ隔テテ四秒時間ニ三閃光ヲ發ス

一 燈火ノ中心ハ高潮平均水面ヨリ高サ二百六十五尺ニシテ晴朝ノ夜ニ際シ水面上十五尺ノ上ニ在ル觀測者ハ二十三海里ノ距離ニ於テ始メテ之ヲ視ルコトヲ得ヘシ

一 燈火ハ南五十五度二十分西ヨリ西北及東ヲ經テ南六十五度五十分東迄二百三十八度五十分間ヲ照輝ス

但シ明弧ハ海上ヨリ燈臺ニ向テ方位ハ磁針ヲ以テ測定ス

一 霧笛ハ石油發動機ヲ原動力トシ之ニ依リテ空氣壓搾唧筒ヲ運轉セシメ壓搾空氣ヲ以テ毎五十秒時ヲ隔テテ四秒時間吹鳴ス

明治四十三年十月十二日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

○朝鮮總督府告示第二十一號(官報十月十九日)

明治四十三年十月二十一日ヨリ左記郵便所ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年十月十三日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

所名	位	置
陰城郵便所	忠清北道陰城郡陰城邑	
扶安郵便所	全羅北道扶安郡扶安邑	
井邑郵便所	全羅北道井邑郡井邑邑	

所名	位	置
茂朱郵便所	全羅北道茂朱郡茂朱邑	
馬島郵便所	慶尙南道昆陽郡馬島邑	

○朝鮮總督府告示第二十二號(官報十月十九日)

明治四十一年九月統監府告示第五百五十二號中左ノ通改正シ本月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十月十三日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

電話規則第四十九條第一項第五號以外ノ通話區域及電話料中「楊州鐵原間」「楊州漣川間」「抱川鐵原間」及「抱川漣川間」ノ各項ヲ削ル

○朝鮮總督府告示第二十三號(官報十月十九日)

明治四十三年朝鮮總督府令第二十七號外國旅券規則第九條ニ依リ同一旅券ヲ以テ數次往復シ得ヘキ地左ノ通定ム

明治四十三年十月十五日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

一 清國盛京省吉林省及黑龍江省 二 露領薩哈連島沿海州及黑龍州

○朝鮮總督府告示第二十四號(官報十月二十四日)

明治四十三年十一月一日ヨリ左記郵便所ヲ設置ス

明治四十三年十月十八日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

所名	位	置
遂安郵便所	黃海道遂安郡遂安邑	

○朝鮮總督府告示第二十五號(官報十月二十四日)

明治四十三年十月三十一日限り左記郵便所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便所之ヲ承繼ス

明治四十三年十月十八日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

所名	位	置	承繼所名
遂安郵便所	黃海道遂安郡遂安邑		遂安郵便所

○朝鮮總督府告示第二十六號(官報十月二十六日)

朝鮮總督府度支部釀造試驗所及煙草試作場ノ名稱、位置左ノ通定ム

明治四十三年十月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

名	稱	位	置	名	稱	位	置
朝鮮總督府度支部釀造試驗所	京畿道京城			同大田煙草試作場	忠清南道大田		

○朝鮮總督府告示第二十七號(官報十月二十六日)

朝鮮總督府專賣局出張所ノ名稱、位置左ノ通定ム

明治四十三年十月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

名	稱	位	置	名	稱	位	置
朝鮮總督府專賣局開城出張所	京畿道開城			同朱安出張所	京畿道仁川府朱安		

○朝鮮總督府告示第二十八號(官報十月二十六日)

朝鮮總督府度支部稅關工事課出張所ノ名稱、位置左ノ通定ム

明治四十三年十月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

名	稱	位	置	名	稱	位	置
稅關工事課仁川出張所	京畿道仁川			稅關工事課鎮南浦出張所	平安南道鎮南浦		
同釜山出張所	慶尙南道釜山			同清津出張所	咸鏡北道清津		

○朝鮮總督府告示第二十九號(官報十月二十六日)
朝鮮總督府稅關出張所ノ名稱、位置左ノ通定ム

明治四十三年十月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

名	位	名	位
京城稅關出張所	京畿道京城	平壤稅關出張所	平安南道平壤
大邱稅關出張所	慶尙北道大邱	龍岩浦稅關出張所	平安北道龍川郡龍岩浦

○朝鮮總督府告示第三十號(官報十月二十七日)
明治四十三年十一月一日ヨリ左記郵便所ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年十月二十二日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

所名	位	所名	位
方魚津郵便所	慶尙南道蔚山郡東面方魚津	北下洞郵便所	平安北道義州府廣化面北下洞

○臺灣總督府告示第二百二十號(官報十月十一日)
明治二十九年八月府令第二十六號臺灣總督府非常通信規則施行細則ニ依リ大嵙坎郵便局ヲシテ當分

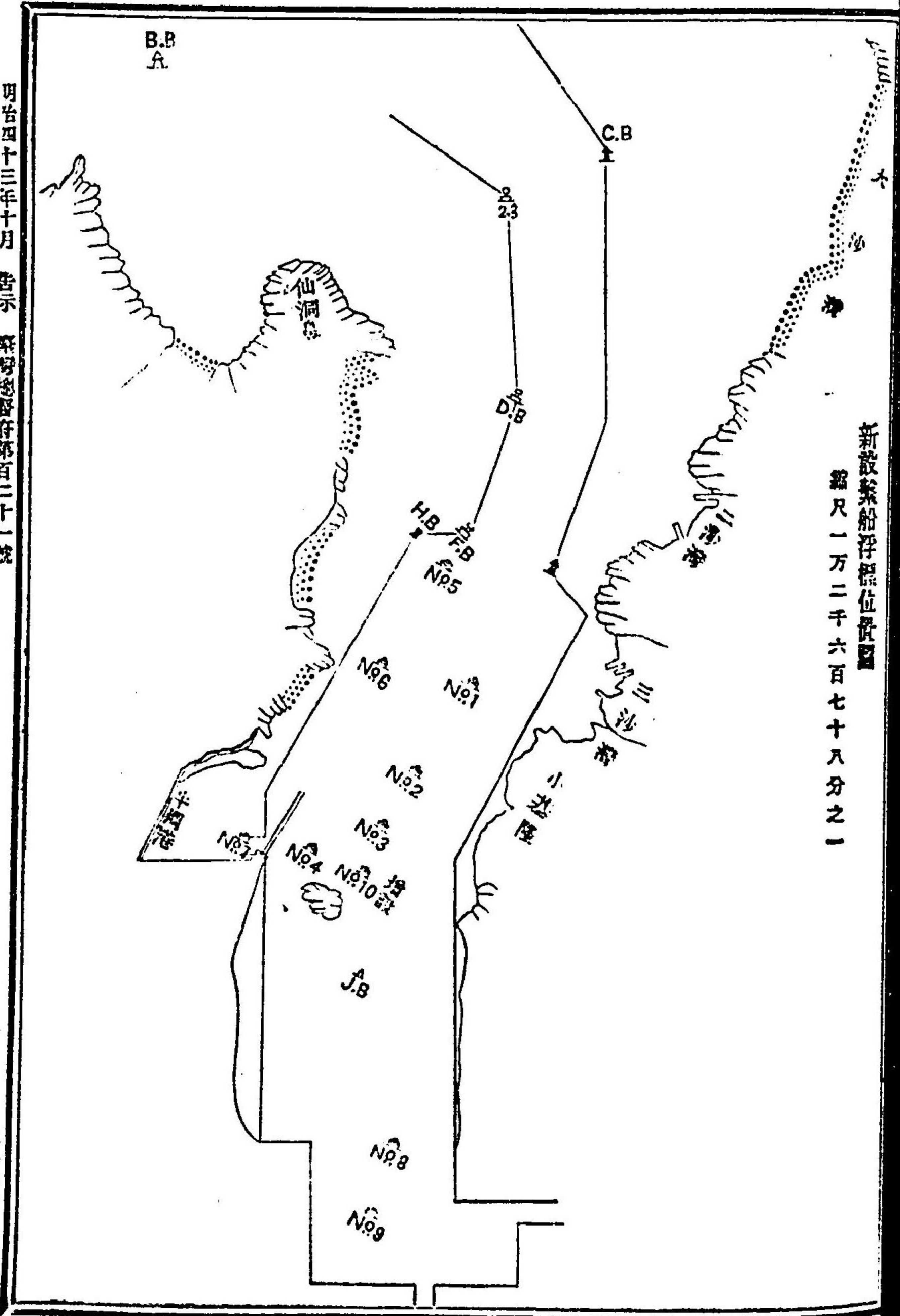
ノ内郵便ニ關スル非常通信事務ヲ取扱ハシム
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第二百二十一號(官報十月十四日)
基隆港内ニ左記ノ通繫船浮標一箇ヲ増設セリ

明治四十三年九月二十二日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

位置 圖面記入ノ箇所
形狀及著色 鐵製圓筒形ニシテ赤色ニ塗り白色ニテ10ナル番號ヲ附ス



○臺灣總督府告示第百二十二號 (官報十月十四日)

明治四十三年十月一日ヨリ嘉義廳下嘉義竹頭崎間鐵道運輸營業ヲ開始ス其ノ哩程左ノ通
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

嘉義	八分	四分	六分	八分
北門	三分	五分	八分	
灣橋	二分	四分	五分	
鹿麻產	二分	四分	五分	
竹頭崎	二分	四分	五分	

○臺灣總督府告示第百二十三號 (官報十月十四日)

大日本製糖株式會社私設鐵道油車仔線、北港線及西螺線ニ於テ臨時託送貨物ノ不定時運輸營業開始ヲ許可セリ其ノ哩程左ノ通

明治四十三年九月二十九日

油車仔線

北港線

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

西螺線

自至	竹園仔
五間厝	九分

自至	北港
五間厝	一分五厘

自至	西螺
五間厝	九分

○臺灣總督府告示第百二十四號 (官報十月十四日)

明治四十三年十月十一日ヨリ左ノ支局ヲ設置シ電信業務ヲ開始ス
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

名 稱 淡水郵便局(フナタカ) 位置 臺北廳芝罘三傑老林庄

○臺灣總督府告示第百二十五號 (官報十月二十一日)

叭哩沙郵便出張所ニ於テ取扱フ郵便ニ關スル非常通信事務ハ明治四十三年十月七日限其ノ取扱ヲ廢止ス
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年十月七日

○臺灣總督府告示第百二十六號 (官報十月二十一日)

明治四十三年十月八日ヨリ圓山非常通信所ヲシテ當分ノ内郵便ニ關スル非常通信事務ヲ取扱ハシム
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年十月七日

○臺灣總督府告示第百二十七號 (官報十月二十一日)

基隆港内浚渫區域識別用C浮標ハ挂燈裝置ヲ撤去セリ
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年十月九日

○臺灣總督府告示第百二十八號 (官報十月二十一日)

明治四十三年十月十日ヨリ明治三十八年五月告示第七十號官廳賣捌所業務擔當人中左ノ通變更ス
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年十月十二日

○臺灣總督府告示第百二十九號 (官報十月二十一日)

阿公店鹽務支館 黃旺先
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年十月十三日

○臺灣總督府告示第百三十號 (官報十月二十一日)

淡水港口ニ碇置セル北門洲浮標ハ流失セリ復舊ノ上ハ更ニ告示スヘシ
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年十月十二日

○臺灣總督府告示第三百三十一號(官報十月二十一日)

明治四十三年十月二日告示第十一號大日本製糖株式會社鐵道他里霧線營業哩程左ノ通變更セリ
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

自	至	他里霧
五間厝	四・五	

○臺灣總督府告示第三百三十二號(官報十月二十一日)

明治四十三年一月告示第三號區ノ名稱及其ノ區域内ノ街庄社名並區長役場ノ位置中南投廳林圯埔支廳ノ部羌仔寮區管轄區域内街庄社名中「牛欄厝庄龜仔頭庄」ヲ削リ集集支廳ノ部集集區管轄區域内街庄社名中拔社埔庄ノ次ニ「沙連堡」内牛欄厝庄龜仔頭庄ヲ加フ
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年十月十五日

○關東都督府告示第三百三十七號(官報十月十二日)

明治四十三年十月一日ヨリ普蘭店郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年九月三十日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第三百三十八號(官報十月十二日)

明治四十一年十月二日告示第一百十七號電話加入區域外通話區域及其ノ電話通話料電話呼出料中左ノ通追加シ明治四十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年九月三十日

關東都督 子爵大島義昌

加入區域外
通話區域
大連普蘭店間

一通話時
ノ通話料

一回ノ電
話呼出料

加入區域外
通話區域
旅順子爵窩間ノ次ニ

一通話時
ノ通話料

一回ノ電
話呼出料

大連普蘭店間

金三十錢

金二十錢

旅順普蘭店間

金三十五錢

金二十五錢

柳樹屯子爵窩間ノ次ニ

柳樹屯普蘭店間

金三十錢

金二十錢

普蘭店子爵窩間

金二十錢

金十五錢

金州普蘭店間

金二十五錢

金二十錢

普蘭店子爵窩間

金二十錢

金十五錢

○關東都督府告示第三百二十九號(官報十月十二日)

明治四十年十月二日告示第十號電話呼出地域中左ノ通追加ス

明治四十三年九月三十日

關東都督 子爵大島義昌

一普蘭店附近

普蘭店會ノ内
張家 爐

○關東都督府告示第四百二十二號(官報十月十二日)

旅順港取締規則第二條ノ水路嚮導料左ノ通定メ明治四十三年十月三日ヨリ之ヲ施行ス
關東都督 子爵大島義昌

明治四十三年十月二日

總

噸

水路嚮導料

一 一千噸未満

出入一回ニ付

金五圓

一 一千噸以上二千噸未満

同

金十圓

一 二千噸以上三千噸未満

同

金十五圓

一 三千噸以上四千噸未満

同

金二十圓

一 四千噸以上五千噸未満

同

金三十圓

一 五千噸以上

同

金四十圓

排水量ヲ以テ表示スル船舶ノ噸數ハ排水量ノ百分ノ六十ヲ以テ本表ノ總噸數ト看做ス

帆船ノ水路嚮導料ハ本表ノ五割増トス

泊地ノ變更ニ要シタル水路嚮導料ハ本表ノ半額トス

○關東都督府告示第四百十六號(官報十月三十一日)
大連濱町、株式會社川崎造船所大連出張所船渠ニ於ケル船舶給水ハ明治四十三年十月一日ヨリ明
治四十四年十二月三十一日マテ左ノ料金ヲ以テ同所ニ之ヲ取扱ハシム

明治四十三年十月十二日
一給水需要者ヨリ徴收スル料金ハ消費水量一立方米ニ付金三十五錢以内トス但シ一立方米未満ノ
モノハ一立方米ノ額トス
關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第四百十七號(官報十月三十一日)
明治四十三年十月三十一日ヨリ告示第六十五號關東都督府醫院藥價及諸料金中左ノ通改正シ明治四十三年十月十
四日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十月十三日
第六ノ二 第一、第二、第五ノ料金ハ在滿洲官公立學校寄宿生徒ニ限リ三分一トス
關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第四百十八號(官報十月二十八日)
明治四十三年十月二十一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ千金寨電信取扱所ニ於テハ電報配達
事務ヲ取扱ハス
孟家堡、下馬塘、連山關及秋水莊ノ各電信取扱所ニ於テハ外國官報及至急電報ト雖時間外ハ之ヲ取
扱ハス

名	位	名	位
奥水子電信取扱所	關東州奥水子鐵道停車場	孟家堡電信取扱所	滿洲孟家堡鐵道停車場
萬家寨電信取扱所	滿洲萬家寨鐵道停車場	下馬塘電信取扱所	滿洲下馬塘鐵道停車場
新登子電信取扱所	滿洲新登子鐵道停車場	連山關電信取扱所	滿洲連山關鐵道停車場
千金寨電信取扱所	滿洲千金寨鐵道停車場	秋水莊電信取扱所	滿洲秋水莊鐵道停車場

○內閣告示第十三號
輕便鐵道事故届出ニ關スル規程左ノ通定ム

明治四十三年十一月十七日

內閣總理大臣 侯爵桂太郎

輕便鐵道事故届出ニ關スル規程

第一條 鐵道地内ニ生シタル事故中衝突、顛覆、死傷者ヲ生シタル運轉上ノ事故、十二時間以上列
車運轉ヲ廢止セル事故其ノ他重大ナル事故ハ即時電信ヲ以テ報告シ尙三日内ニ第一號書式ニ依
リ届出ツヘシ

第二條 前條以外ノ事故ハ一箇月分ヲ取繼メ翌月十五日限リ第二號書式ニ依リ届出ツヘシ
第一號書式(用紙美濃紙)

事故種別	發生日時	場所	死傷者	停止時間	事故原因	當時ノ處置
脱線衝突、顛覆等	年月日時分	停車場又ハ起點ヨリ哩數(何驛間)	死傷者ノ員數、旅客、公家職員ノ別、重傷ノ輕重等		期間内ニ取調リ了セサルトキハ結了次第届出ツヘキモノトス	
		當該列車又ハ機關車 若ハ車輛				
		現場ノ狀況及損害ノ 有無	詳細ニ記載シ必要ニ依リ圖面ヲ添附ス			

第二號書式(用紙製簿紙)

管務者成分ノ願末 期間内ニ成分ヲ了セサルトキハ結了次第届出ツヘキモノトス

考 備	者 務 管 處 分	因 原	煩 種 故 事	所 場	生 日 月 年

○内閣告示第十四號

注意 事故其ノ他ノ欄ニハ第一號書式記載ノ例ニ準シ要領ヲ記載スヘシ

輕便鐵道營業報告書ハ私設鐵道法第六十六條營業報告書様式ニ準據シテ之ヲ調製スヘシ

明治四十三年十一月十七日 内閣總理大臣 侯爵桂太郎

○内閣告示第十五號

輕便鐵道客帳ハ鐵道客帳規程ニ準據シテ之ヲ調製スヘシ

明治四十三年十一月十七日

内閣總理大臣 侯爵桂太郎

○内閣告示第十六號

輕便鐵道統計ニ關シテハ鐵道統計規程第一條乃至第四條ノ規定ヲ準用ス

明治四十三年十一月十七日

内閣總理大臣 侯爵桂太郎

○内閣告示第十七號

明治四十一年^{十二月}内閣告示第五號鐵道管理局ノ名稱位置及管理區域中中部鐵道管理局管理區域ノ欄「昌平橋敷原間」ヲ「昌平橋宮ノ越間」ニ、「名古屋上松間」ヲ「名古屋木曾福島間」ニ改メ、本日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一月二十五日

内閣總理大臣 侯爵桂太郎

○鐵道院告示第一百一號

明治四十三年十一月十五日ヨリ東北本線乙供野邊地間ニ千曳停車場ヲ設置シ一般運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ通

明治四十三年十一月五日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

乙供千曳間

五哩三分

千曳野邊地間

三哩五分

○鐵道院告示第一百二號

大阪荷扱所相生橋支所ニ於ケル到着貨物ノ取扱ハ明治四十三年十一月末日限り之ヲ廢止ス

明治四十三年十一月七日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第百三號

明治四十三年十一月二十一日ヨリ北海道函館本線小樽朝里間ニ小樽築港停車場ヲ設置シ一般運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ通

明治四十三年十一月十日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

小樽小樽築港間

一哩四分

小樽築港朝里間

一哩八分

○鐵道院告示第百四號

明治四十三年十一月十五日ヨリ山手線巢鴨田端間ニ駒込停車場ヲ設置シ旅客手小荷物ノ取扱ヲ開始ス其哩程左ノ通

明治四十三年十一月十二日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

巢鴨駒込間

零哩四分

駒込田端間

一哩一分

○鐵道院告示第百五號

明治四十三年十一月二十三日ヨリ北海道留萌線深川留萌間鐵道運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ通

明治四十三年十一月二十二日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

深川筑紫間

五哩五分

惠比島時下間

四哩七分

藤山大和田間

二哩七分

筑紫沼田間

三哩四分

時下駒込間

三哩八分

大和田留萌間

三哩六分

沼田惠比島間

四哩零分

駒込藤山間

三哩四分

○鐵道院告示第百六號

明治四十三年十一月二十四日ヨリ鐵道院告示第五十四號國有鐵道線路名稱中室蘭線ノ次ニ留萌線深川留萌間ヲ加フ

明治四十三年十一月二十二日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第百七號

明治四十一年十月十二日鐵道院告示第二號鐵道院建設事務所名稱位置及所管區域中北海道建設事務所管區域ノ欄留萌深川間ヲ削リ本月二十三日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一月二十二日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第百八號

明治四十一年十月十二日鐵道院告示第四號鐵道管理局內各事務所ノ名稱位置及所管區域中北海道鐵道管理局旭川運輸事務所並旭川保線事務所所管區域ニ深川留萌間ヲ追加シ本月二十三日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一月二十二日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第百九號

明治四十三年十一月二十五日ヨリ中央東線釧原宮ノ越間及中央西線上松木會福島間鐵道運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ通

明治四十三年十一月二十四日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

釧原宮ノ越間

三哩五分

上松木會福島間

四哩六分

○鐵道院告示第百十號

明治四十二年十月鐵道院告示第五十四號國有鐵道線路名稱中中央東線ノ「釧原」ヲ「宮ノ越」ニ中央西線ノ「上松」ヲ「木曾福島」ニ改ム

明治四十三年十一月二十四日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第百十一號

明治四十一年十月十二日鐵道院告示第四號鐵道管理局內各事務所ノ名稱位置及所管區域中中部鐵道管理局甲府運輸事務所所管區域ノ欄「八王子藪原間」ヲ「八王子宮ノ越間」ニ名古屋運輸事務所並名古屋出

納事務所管區域ノ欄「名古屋上松間」ヲ「名古屋木曾福島間」ニ改メ本日ヨリ之ヲ施行ス
鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第百十二號

明治四十三年十二月一日ヨリ關西本線八尾停車場加美汽動車專用乘降場間ニ久寶寺汽動車專用乘降場ヲ設置シ旅客乗降ノ取扱ヲ開始ス其哩程左ノ通

明治四十三年十一月二十五日 鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

八尾久寶寺間 零哩八分

久寶寺加美間

零哩九分

○鐵道院告示第百十三號

九州筑豐線本洞分岐點哩程ヲ左ノ通改正ス

明治四十三年十一月二十九日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

直方本洞分岐點間 一哩二分

本洞分岐點中泉間

一哩四分

○宮内省告示第百十四號

第十七師管下ニ於テ特別大演習御施行ニ付來ル十日御發聲岡山縣下ヘ行幸仰出サル

明治四十三年十一月六日

宮内大臣 子爵渡邊千秋

○宮内省告示第百十五號

明十八日岡山大本營御發聲東京遠幸仰出サル

明治四十三年十一月十七日

宮内大臣 子爵渡邊千秋

○内務省告示第百二十七號

明治三十年法律第二十九號砂防法第二條ニ依リ砂防設備ヲ要スル土地左ノ通指定ス

明治四十三年十一月二日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

三重縣

郡名 町村名

大字名

字名

箇

果

三重

朝上

杉谷

倉谷

箇

果

同

千種

千草

菰ヶ谷

箇

果

○内務省告示第百二十八號

一明治四十四年萬國日操表

一册

山口縣厚狹郡宮田三輪才助 發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治四十三年十一月七日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百二十九號

瑞西聯邦政府ヨリ左ノ通牒アリタリ

一在ベルヌ西班牙公使館ハ一九一〇年九月七日附ヲ以テ西班牙皇帝陛下ニ於テハ一九一〇年九月五日ヲ以テ一九〇八年十一月十三日附文學的及美術的著作物保護修正ベルヌ條約ノ全部ヲ嘉納

批准シタル旨ノ外交文書ヲ瑞西聯邦政府ニ提出シタリ

二諸威外務省ハ一九一〇年九月四日附ヲ以テ一九〇八年十一月十三日附修正ベルヌ條約ニ對スル批准書ヲ瑞西聯邦政府ニ提出シ之ト同時ニ該條約ハ諸威ニ對シテハ該條約第二十七條ニ基キテ

爲シタル該條約第二條第九條及第十八條ニ關スル左記ノ留保ノ下ニ一九一〇年九月九日ヨリ效

カヲ生スヘキコトヲ通牒シ來レリ

(イ)建築物ニ付テハ諸威政府ハ『文學的及美術的著作物』ナル名稱中ニ建築物ヲ包含セシムル前

記條約第二條ノ規定ニ準據セシメテ單ニ「建築ニ關スル圖畫模型」ヲ包含スル旨ヲ定メタル
 一八八六年九月九日附ベルヌ條約第四條ニ準據スルコト
 (ロ)新聞紙及定期刊行物ニ掲ケタル記事ノ轉載ニ付テハ諾威政府ハ一八九〇八年十一月十三日附修
 正ベルヌ條約第九條ニ準據セシメテ一八八六年九月九日附ベルヌ條約第七條ニ準據スルコト
 (ハ)修正ベルヌ條約實施ノ際著作物ノ本國ニ於テ未タ公有ニ歸セサル著作物ニ關スル該條約ノ適
 用ニ付テハ諾威政府ハ該條約第十八條ニ準據セシメテ一八八六年九月九日附ベルヌ條約第十
 四條ニ準據スルコト

明治四十三年十一月八日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第三百三十號

國道第五十九號線ヲ左ノ通り相定ム

明治四十三年十一月十二日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

第五十九號			
東京ヨリ第十六師團ニ送スル路線			
地名	管轄名	國名	
日本橋			
二號			
三條大橋	京都市府	山城	
深取	同	同	

○内務省告示第三百三十一號
 郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中大分縣ノ部ニ左ノ通大分警察署ノ欄ヲ加ヘ明治四十四

年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一月十四日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

署名	管轄	轄區
大分警察署	大分市	
	大分郡	

○内務省告示第三百二十二號

一明治四十四年九星早見 一册

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

京都市 荒木登 發行

明治四十三年十一月十九日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第三百二十三號

瑞西聯邦政府ヨリ左ノ通牒アリタリ

西班牙國政府ハ千九百十年九月九日ヨリ千九百八年十一月十三日附文學的及美術的著作物保護修
 正ベルヌ條約ヲ同國ニ實施シ且同條約ニ對スル同國ノ加盟ハ其領地ヲ包含スル旨ヲ通告シ來レリ

明治四十三年十一月二十二日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第三百三十四號

北海道廳ニ於テ設置セル北海道移住民取扱員事務所ノ所在地分擔區域及開設期間左ノ如シ

明治四十三年十一月二十二日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

設置箇所	開設期間	分擔區域
青森	毎年十一月ヨリ翌年五月ニ至ル	東京、新潟、埼玉、群馬、千葉、茨城、栃木、山梨、長野、宮城、福島、鹿角、津
名古屋	同	神奈川、奈良、三重、愛知、静岡、滋賀、岐阜、七ヶ
伏木	同	福井、石川、富山、三
神戶	同	京都、大阪、兵庫、鳥取、島根、岡山、廣島、山口、和歌山、徳島、香川、愛媛、高
	同	知ノ二府十一縣及九州一國

小 椽 常 設
西 館 同 上
室 閣 同 上

○內務省告示第三百二十五號

清國人 張豫齊 清國人 黃克儀 清國人 楊緒之 清國人 孫萬山
清國人 李 富 清國人 王殿閣 清國人 劉振林 清國人 洪德陽
清國人 劉華雲 清國人 恩祐 清國人 盧金篆 清國人 盧鳳書
右日本帝國ニ歸化ヲ允許セリ
明治四十三年十一月二十六日 內務大臣 法學博士男爵平田東助

○大藏省告示第三百三十三號

明治四十三年十二月一日ヨリ同月三十一日マテ稅關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表左ノ通之ヲ定ム

但本表所掲ノ外國貨幣ト日本金貨トノ比較ハ從前ノ通

明治四十三年十一月一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

内外貨幣比較表

外 國 貨 幣	日 本 金 貨	
	上 海 一 兩	天 津 一 兩
清 國 兩	一 兩	一 兩
漢 口 一 兩	二 九 六	二 六 二

暹 西 番 幣 銀	一 ドル	九 二 四
英 吉 利 幣 銀	一 ドル	九 一 二
香 港 幣 銀	一 ドル	九 一 二
暹 羅 貨 一 ナカ		七 七 〇

○大藏省告示第三百三十四號

國債事務取扱店ノ位置及名稱中日本銀行京城派出所ヲ本年十月三十一日限り廢止シ十一月一日ヨリ左ノ代理店ヲ設置ス

明治四十三年十一月四日

大藏大臣 侯爵桂太郎

名 稱 日本銀行京城代理店

位 置 朝鮮京城本町三丁目

○大藏省告示第三百三十五號

明治三十二年三月法律第八十四號本年三月大藏省令第七號及本年五月同第二十一號同第二十三號ニ依リ發行スル國債ノ內本年十月中甲種國債登錄簿ニ登錄シ又ハ日本銀行ニ交付シタル國債證券ノ額面高左ノ如シ

明治四十三年十一月二十五日

大藏大臣 侯爵桂太郎

明治三十八年發行

一五分利公債額面五拾圓

明治四十三年發行

一五分利公債額面八千九百圓

一第一回四分利公債額面貳百七拾參萬八千參百圓

一第二回四分利公債額面千五百圓

○大藏省告示第三百三十六號

明治四十二年三月三十大藏省告示第三十八號中「及同三十八年法律第十七號」同三十八年法律第十七號及同四十二年法律第六號帝國鐵道會計法ニ改ム

明治四十三年十一月二十五日

大藏大臣 侯爵桂太郎

〔參照〕

大藏省告示第三十八號(明治四十二年三月二十日)

明治四十二年度以降割引ノ方法ヲ以テ發行スヘキ大藏省證券ノ格式ヲ改正シ其ノ見本ヲ各取扱店ニ配置セリ但シ本格式ハ明治十七年第二十四號布告大藏省證券條例及同三十八年法律第十七號ニ依リ發行スル大藏省證券ニ適用ス

○大藏省告示第三百三十七號

一大藏省證券額面貳千五百萬圓

但大藏省證券條例ニ依ル分

仕拂期日 明治四十四年一月二十五日

一大藏省證券額面千萬圓

但帝國鐵道會計法第十二條第一項ニ依ル分

仕拂期日 明治四十四年一月二十五日

右割引ノ方法ヲ以テ本月二十五日之ヲ發行セリ

明治四十三年十一月二十六日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第三百三十八號

札幌稅務監督局管内檜山稅務署ヲ明治四十三年十二月一日北海道檜山郡江差町大字法華寺町四番地ノ一四十二移ス

明治四十三年十一月二十六日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第三百二十九號

長野稅務監督局管内中野稅務署ヲ明治四十三年十一月二十八日長野縣下高井郡中野町大字中野字西町上六百七十一番地ニ移ス

明治四十三年十一月二十八日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○陸軍省告示第二十二號

臨時陸軍建築部大阪支部奈良出張所及同小倉支部佐賀出張所ハ之ヲ閉鎖ス

明治四十三年十一月三十日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

○海軍省告示第十七號

明治四十三年勅令第三百四十號第二項ニ依リ入札又ハ契約ノ保證金トシテ提供セシムヘキ有價證券ノ種類ハ國債證券、地方債證券、勸業債券、興業債券、貯蓄債券トス

明治四十三年十一月八日

海軍大臣 男爵齋藤實

○司法省告示第六十三號

明治四十三年勅令第三百四十號第二項ニ依リ入札又ハ契約ノ保證金トシテ提供セシムヘキ有價證券ノ種類ハ國債證券、地方債證券、勸業債券、興業債券、貯蓄債券トス

明治四十三年十一月二日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第六十四號

宮崎地方裁判所管内飯肥區裁判所ニ備ヘアル南那珂郡香田村大字戸高土地登記簿第一冊ノ内登記番號第一號乃至第五號、第七號乃至第十八號ノ登記用紙遺失ニ罹リ滅失シタリ

滅失シタル登記用紙ニ登記ヲ受ケタル者又ハ同區裁判所ニ對シ登記ニ關スル通知若クハ贖託ヲ爲

シタル官廳、公署ハ明治四十四年二月末日マテニ登記回復ノ申請ヲ爲シ又ハ通知若クハ囑託ヲ爲スヘシ

前項ニ定メタル期日マテニ登記ノ回復ヲ申請シ又ハ其囑託ヲ爲ストキハ登記シタル權利ハ仍ホ前登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘシ

明治四十三年十一月十日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第六十五號

千葉地方裁判所管内松戸區裁判所二川出張所ニ備ヘアル東葛飾郡關宿町大字家町土地登記簿第十册乃至第十六册 登記番號第五〇〇一號ハ滅失ノ虞アルヲ以テ不動産登記法第二十四條ニ依リ其登記ノ轉寫ヲ命シタリ

明治四十三年十一月十一日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第六十六號

德島地方裁判所管内脇町區裁判所貞光出張所ニ備ヘアル美馬郡端山村大字東端山村土地登記簿第二十五册及第二十六册ハ滅失ノ虞アルヲ以テ不動産登記法第二十四條ニ依リ其登記ノ轉寫ヲ命シタリ

明治四十三年十一月十一日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第六十七號

東京府南葛飾郡龜戸町戸籍役場明治四十三年八月十二日水害ニ罹リ同役場保存ノ戸籍簿滅失シタリ

明治四十三年十一月十二日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第六十八號

青森地方裁判所管内野邊地區裁判所川内出張所ニ備ヘアリシ左記登記簿本年十一月二日火災ニ罹

リ燒失シタリ

燒失シタル登記簿ニ登記ヲ受ケタル者又ハ同出張所ニ對シ登記ニ關スル通知若クハ囑託ヲ爲シタル官廳、公署ハ明治四十四年二月末日マテニ登記回復ノ申請ヲ爲シ又ハ其通知若クハ囑託ヲ爲スヘシ

前項ニ定メタル期日マテニ登記ノ回復ヲ申請シ又ハ囑託スルトキハ登記シタル權利ハ仍ホ前登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘシ

明治四十三年十一月十六日

司法大臣 子爵岡部長職

燒失シタル登記簿

一下北郡野澤村大字野澤村所管登記簿

第七册 一同 郡同 村大字楡川 同

第一册

○司法省告示第六十九號

長野地方裁判所管内飯田區裁判所富草出張所ニ備ヘアリシ左記ノ舊公證簿盜害ニ罹リ滅失シタリ

明治四十三年十一月三十日

司法大臣 子爵岡部長職

滅失シタル舊公證簿

一下伊那郡野澤村地所賣渡讓渡與印留
一同 郡同 村地所賣渡讓渡與印留
一同 郡同 村地所賣渡讓渡與印留
一同 郡同 村地所賣渡讓渡與印留
一同 郡同 村地所賣渡讓渡與印留
一同 郡同 村地所賣渡讓渡與印留

至自 至自 至自 至自 至自 至自
明治 明治 明治 明治 明治 明治
十九 十九 十九 十九 十九 十九
年 年 年 年 年 年
十二月 十二月 十二月 十二月 十二月 十二月
分 分 分 分 分 分

一册 一册 一册 一册 一册 一册

○文部省告示第二百二十八號

秋田鑛山専門學校ノ位置ヲ秋田縣南秋田郡旭川村トシ明治四十四年四月ヨリ授業ヲ開始ス

明治四十三年十一月四日

文部大臣 小松原英太郎

Table listing land parcels with columns for location (e.g., 山ノ上, 宮ノ上), area, and other details. Includes entries like 山ノ上, 宮ノ上, 宮ノ上, 若林, 上ノ山, etc.

○農商務省告示第五百九十八號

左記箇所ノ開墾ヲ爲サムトスル者ハ長野縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

農商務大臣 男爵大浦兼武

明治四十三年十一月二日

Table listing land parcels with columns for location (e.g., 狐穴, 麻等尻), area, and other details. Includes entries like 狐穴, 麻等尻, 狐穴, etc.

Table with 3 columns: Location (e.g., 高畑ヶ山, 同), Area (e.g., 一四〇八二), and another column of numbers.

○農商務省告示第六百一號

左記箇所ノ開墾ヲ爲サムトスル者ハ長野縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
明治四十三年十一月七日
農商務大臣 男爵大浦兼武

Table with 3 columns: Location (e.g., 宇野, 長野縣北安曇郡八坂村), Area (e.g., 一四〇八二), and another column of numbers.

Table with 3 columns: Location (e.g., 高畑ヶ山, 同), Area (e.g., 一四〇八二), and another column of numbers.

明治四十三年十一月 告示 農商務省第六百五號 第六百六號 第六百七號 第六百八號

二一七四

○農商務省告示第六百五號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年十一月九日

縣	郡	村	大字	字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
栃木	鹽谷	鹽原	鴻水城原	富士山			一四〇〇〇	町 九六〇〇

○農商務省告示第六百六號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年十一月九日

縣	郡	村	大字	字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
岐阜	稻葉	蘇原	野口	西屋敷			一四〇〇〇	町 三二七〇

○農商務省告示第六百七號

左記區域内ニアル森林ノ開墾ヲ爲サムトスル者ハ富山縣知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ御料林、國有林並砂防法其ノ他ノ法令ニ基ク開墾制限地ヲ除ク

明治四十三年十一月九日

縣	郡	村	大字	字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
富山	下新川	前薄	前村	布庫山開墾野			一四〇〇〇	町 一〇七〇

○農商務省告示第六百八號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年十一月九日

縣	郡	村	大字	字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
愛知	東春日井	旭	今	樋口			一四〇〇〇	町 一〇七〇

○農商務省告示第六百九號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年十一月九日

縣	郡	町	大字	字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
岐阜	稻葉	加納	下加納	黒木			二〇〇〇	町 一〇一〇

○農商務省告示第六百十號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年十一月九日

縣	郡	村	大字	字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
長野	下伊那	會地	胸場	宮ノ脇			二〇七八二	町 三三九〇

○農商務省告示第六百十一號

左記箇所ノ開墾ヲ爲サムトスル者ハ長野縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

明治四十三年十一月十日

縣	郡	村	大字	字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
長野	北安曇郡	美麻村	サヌ浜	サヌ浜			三六七八	町 三六八七

明治四十三年十一月 告示 農商務省第六百九號 第六百十號 第六百十一號

二一七五

長野縣北安曇郡美麻村

字	地番	面積	備考
林	10,500	2,110	
林	10,501	2,110	
林	10,502	2,110	
林	10,503	2,110	
林	10,504	2,110	
林	10,505	2,110	
林	10,506	2,110	
林	10,507	2,110	
林	10,508	2,110	
林	10,509	2,110	
林	10,510	2,110	
林	10,511	2,110	
林	10,512	2,110	
林	10,513	2,110	
林	10,514	2,110	
林	10,515	2,110	
林	10,516	2,110	
林	10,517	2,110	
林	10,518	2,110	
林	10,519	2,110	
林	10,520	2,110	
林	10,521	2,110	
林	10,522	2,110	
林	10,523	2,110	
林	10,524	2,110	
林	10,525	2,110	
林	10,526	2,110	
林	10,527	2,110	
林	10,528	2,110	
林	10,529	2,110	
林	10,530	2,110	
林	10,531	2,110	
林	10,532	2,110	
林	10,533	2,110	
林	10,534	2,110	
林	10,535	2,110	
林	10,536	2,110	
林	10,537	2,110	
林	10,538	2,110	
林	10,539	2,110	
林	10,540	2,110	
林	10,541	2,110	
林	10,542	2,110	
林	10,543	2,110	
林	10,544	2,110	
林	10,545	2,110	
林	10,546	2,110	
林	10,547	2,110	
林	10,548	2,110	
林	10,549	2,110	
林	10,550	2,110	

字	地番	面積	備考
林	10,551	2,110	
林	10,552	2,110	
林	10,553	2,110	
林	10,554	2,110	
林	10,555	2,110	
林	10,556	2,110	
林	10,557	2,110	
林	10,558	2,110	
林	10,559	2,110	
林	10,560	2,110	
林	10,561	2,110	
林	10,562	2,110	
林	10,563	2,110	
林	10,564	2,110	
林	10,565	2,110	
林	10,566	2,110	
林	10,567	2,110	
林	10,568	2,110	
林	10,569	2,110	
林	10,570	2,110	
林	10,571	2,110	
林	10,572	2,110	
林	10,573	2,110	
林	10,574	2,110	
林	10,575	2,110	
林	10,576	2,110	
林	10,577	2,110	
林	10,578	2,110	
林	10,579	2,110	
林	10,580	2,110	
林	10,581	2,110	
林	10,582	2,110	
林	10,583	2,110	
林	10,584	2,110	
林	10,585	2,110	
林	10,586	2,110	
林	10,587	2,110	
林	10,588	2,110	
林	10,589	2,110	
林	10,590	2,110	
林	10,591	2,110	
林	10,592	2,110	
林	10,593	2,110	
林	10,594	2,110	
林	10,595	2,110	
林	10,596	2,110	
林	10,597	2,110	
林	10,598	2,110	
林	10,599	2,110	
林	10,600	2,110	

○農商務省告示第六百二十九號
左記區域内ニアル森林ノ開墾ヲ爲サトスル者ハ埼玉縣知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ御料林 國有
林並砂防法其他ノ法令ニ基ク開墾制限地ヲ除ク

明治四十三年十一月十八日

農商務大臣 男爵大浦兼武

○農商務省告示第六百三十號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年十一月十八日

農商務大臣 男爵大浦兼武

縣	郡	村	大字	字	地番	面積	
長野	下伊那	村	大字	同	唐土社朱引外	六〇六〇	
					同	同	同
					同	同	同
同	同	同	同	同	宮ノ越	五七二〇	
					宮ノ後	一、二、三〇〇	
					宮ノ元	五、九、一〇〇	
同	同	同	同	同	美女線朱引外	二、四、七、六、二	
					同	同	同
					同	同	同

○農商務省告示第六百三十一號
左記箇所ノ開墾ヲ爲サトスル者ハ長野縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

農商務大臣 男爵大浦兼武

縣	郡	村	大字	字	地番	面積	
長野	下伊那	村	大字	同	赤波合	二、〇、八、四、一	
					同	同	同
					同	同	同
同	同	同	同	同	赤波合	二、〇、九、九、九	
					同	同	同
					同	同	同

縣	郡	村	大字	字	地番	面積	
長野	下伊那	村	大字	同	赤波合	二、〇、八、四、一	
					同	同	同
					同	同	同
同	同	同	同	同	赤波合	二、〇、九、九、九	
					同	同	同
					同	同	同
同	同	同	同	同	赤波合	二、〇、九、九、九	
					同	同	同
					同	同	同

字	地番	面積	所有者
富山縣下新川郡下中島村大字三ヶ村	前田	一、五七五	濱田 松次郎
	同	一、三六〇	川上 松次郎
	同	一、三三〇	八倉 登仁次郎
	同	一、三三〇	野澤 左兵衛
	同	一、三〇〇	濱田 松次郎
	同	一、二九九	同
	同	一、二八八	同
	同	一、二八八	同
	同	一、二八八	同
	同	一、二八八	同
同道下村大字本新村	大坪割	一、五五三	大崎 平一
	同	一、六九四	同
	同	一、六九五	同
	同	一、六九五	同
	同	一、六九五	同
	同	一、六九五	同
	同	一、六九五	同
	同	一、六九五	同
	同	一、六九五	同
	同	一、六九五	同
同大字北鬼江	三反田	九三三	大崎 基左工門
	同	九二八	本元 作次郎
	同	九二八	大崎 三五郎
	同	九二八	内海 長兵衛
	同	九二八	大原 幸次郎
	同	九二八	大崎 三郎兵衛
	同	九二八	大崎 從昇
	同	九二八	大崎 善右工門
	同	九二八	同
	同	九二八	同
同大字岡田村	同	二、四八	大崎 善右工門
	同	二、四八	同
	同	二、四八	同
	同	二、四八	同
	同	二、四八	同
	同	二、四八	同
	同	二、四八	同
	同	二、四八	同
	同	二、四八	同
	同	二、四八	同
同大字佛田村	同	二、一九〇	谷 長平
	同	二、一九〇	前田 九右工門
	同	二、一九〇	高林 源助
	同	二、一九〇	谷 長平
	同	二、一九〇	岡田 中三
	同	二、一九〇	田原 松次郎
	同	二、一九〇	寺田 重次郎
	同	二、一九〇	曹田 善右工門
	同	二、一九〇	田原 松次郎
	同	二、一九〇	田村 長次郎
同大字佛田、又新村	同	四、二〇	田村 長次郎
	同	四、二〇	同
	同	四、二〇	同
	同	四、二〇	同
	同	四、二〇	同
	同	四、二〇	同
	同	四、二〇	同
	同	四、二〇	同
	同	四、二〇	同
	同	四、二〇	同
同大字青島	同	五、三〇	佐藤 平次郎
	同	五、三〇	高見 傳四郎
	同	五、三〇	田村 安之丞
	同	五、三〇	田原 松次郎
	同	五、三〇	田村 長次郎
	同	五、三〇	同
	同	五、三〇	同
	同	五、三〇	同
	同	五、三〇	同
	同	五、三〇	同

字	地番	面積	所有者
同石田村大字畑切	同	五、六八	田村 安之丞
	同	五、六八	田村 直作
	同	五、六八	同
	同	五、六八	同
	同	五、六八	同
	同	五、六八	同
	同	五、六八	同
	同	五、六八	同
	同	五、六八	同
	同	五、六八	同
北濱割	同	二、二一九	廣木 廣次郎
	同	二、二一九	能登 太次郎
	同	二、二一九	長谷川 助七
	同	二、二一九	能登 與三
	同	二、二一九	能登 巳之次郎
	同	二、二一九	同
	同	二、二一九	同
	同	二、二一九	同
	同	二、二一九	同
	同	二、二一九	同
同	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 吉右工門
	同	二、二一九	能登 米次郎
	同	二、二一九	長谷川 善右工門
	同	二、二一九	能登 吉次郎
	同	二、二一九	長谷川 善右工門
	同	二、二一九	能登 伊佐
	同	二、二一九	能登 久左工門
	同	二、二一九	能登 力次郎
	同	二、二一九	能登 與三
同	同	二、二一九	能登 助太郎
	同	二、二一九	長谷川 伊助
	同	二、二一九	同
	同	二、二一九	同
	同	二、二一九	同
	同	二、二一九	同
	同	二、二一九	同
	同	二、二一九	同
	同	二、二一九	同
	同	二、二一九	同
同	同	二、二一九	能登 與三
	同	二、二一九	能登 巳之助
	同	二、二一九	能登 貞次郎
	同	二、二一九	能登 文次郎
	同	二、二一九	能登 太兵衛
	同	二、二一九	能登 久作
	同	二、二一九	能登 伊次郎
	同	二、二一九	能登 榮吉
	同	二、二一九	能登 初太郎
	同	二、二一九	能登 善右工門
同	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
同	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門
	同	二、二一九	能登 善右工門

伏木

Table with 10 columns containing land numbers (e.g., 12193, 12194) and names (e.g., 眞見 宅次郎, 岡本 市次郎).

竹ノ越

Table with 10 columns containing land numbers (e.g., 10908, 10909) and names (e.g., 眞見 宅次郎, 舟渡 権次郎).

角地

Table with 10 columns containing land numbers (e.g., 13331, 13332) and names (e.g., 眞岩 元次郎, 眞岩 理吉).

高平 同 一、八五六
同 一、八五七
同 一、八五五
同 一、八五八
同 一、八六八
同 乙、八六二
同 一、八六五
同 一、八六六

同 八五七
同 一、二六二
同 四六二
同 一、四七二
同 五二九
同 六六〇
同 二〇八
同 一九二二

同 一、八六七
同 二、〇〇八
同 一、九九七
同 一、九九八
同 一、九九九
同 二、〇〇〇
同 二、〇〇一
同 二、〇〇五

○農商務省告示第六百四十七號
森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ茨城縣知事ノ告示シタル左記ノ保安林ハ之ヲ解除セヌ

明治四十三年十一月二十六日

農商務大臣 男爵大浦兼武

茨城 多賀 坂上 大字 川原内
同 同 國分 金澤 辨財天

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

○農商務省告示第六百四十八號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年十一月二十六日

農商務大臣 男爵大浦兼武

茨城 真壁 町村 大字 字
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 筑波 筑波 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 東茨城 筑波 筑波 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

○農商務省告示第六百四十九號
森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十三年十一月二十六日

農商務大臣 男爵大浦兼武

岐阜 揖斐郡小島村大字上野
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 西廣尾 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

○遞信省告示第千七百七十號

本日ヨリ左記各地ニ於テ配達スヘキ内國電報、外國電報及日清電報ノ別使配達料及解船配達料左ノ如シ

一 朝鮮

別使配達料及解船配達料ハ本邦内地ニ同シ

解船配達料ハ左ニ掲クルモノヲ除クノ外五十錢トシ其ノ配達實費之ヲ超過スルトキハ實費額ニ依ル

配達局名	解船配達料	配達局名	解船配達料
釜山局	二〇〇	元山局	四〇〇
馬山局	二〇〇	龍岩浦地多羅島	六〇〇〇
仁川局	一〇〇〇	斗流浦	一〇〇〇
鎮南浦局	三〇〇	サンドワロウ	二〇〇〇

二 臺灣

別使配達料ハ著信局所ヨリ二里以内ハ四十錢トシ二里ヲ超ユルトキハ一里以内毎ニ三十錢ヲ加フ但シ島嶼ニ配達スル場合ハ里程ニ拘ラス四十錢トシ其ノ配達實費之ヲ超過スルトキハ實費額ニ依ル

三 滿洲(帝國通信官署ノ取扱)

別使配達料ハ里程ニ拘ラス三十錢解船配達料ハ五十錢(大連ニ限り一圓)トシ其ノ配達實費之ヲ超過スルトキハ各實費額ニ依ル

四 清國芝罘(帝國通信官署ノ取扱)

解船配達料ハ二十五錢トシ其ノ配達實費之ヲ超過スルトキハ實費額ニ依ル

明治四十二年遞信省告示第千六百七十二號ハ之ヲ廢止ス

明治四十三年十一月一日

遞信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治四十二年十月三日遞信省告示第千六百七十二號ハ臺灣、韓國及在滿洲本邦局所在地ニ於ケル外國電報ノ別使配達料ナリ

○遞信省告示第千七百七十一號

明治二十九年遞信省告示第千二百八十五號ハ之ヲ廢止ス

明治四十三年十一月一日

遞信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治二十九年十月八日遞信省告示第千二百八十五號ハ數字ヲ以テ聯綴セル漢語電報ノ件ナリ

○遞信省告示第千七百七十二號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月一日

遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱	位 置	名 稱	位 置
八鹿郵便局	兵庫縣養父郡八鹿村	江原郵便局	兵庫縣城崎郡日高村

○遞信省告示第千七百七十三號

明治三十三年ハ遞信省告示第千三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月一日

遞信大臣 男爵後藤新平

〔但馬國城崎郡港村〕ノ項ノ次ニ

但馬國養父郡八鹿村大字八鹿、同九鹿、同下細崎、同上細崎、高柳村大字小山
但馬國城崎郡日高村大字日屋(字刈谷ヲ除ク)、同彌布字彌布、大字江原、同龜岡(字谷ヲ除ク)、同實田、同岩中、同久斗、同國保

○逓信省告示第千七百七十四號
明治三十九年六月逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月一日		逓信大臣 男爵後藤新平	
加入區域外 通話區域 一、電話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域 一、電話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域 一、電話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域 一、電話ノ通 常電話料
八鹿大坂間 金四十五錢	八鹿出石間 金二十錢	八鹿津居山間 金二十錢	八鹿豐岡間 金二十錢
八鹿神戶間 金三十錢	八鹿江原間 金十錢	八鹿生野間 金十五錢	八鹿城崎間 金十五錢
八鹿豐岡間 金二十五錢	八鹿大坂間 金四十五錢	八鹿津居山間 金三十五錢	八鹿出石間 金十五錢
八鹿生野間 金二十錢	八鹿神戶間 金三十五錢	八鹿城崎間 金二十五錢	八鹿津居山間 金十五錢
八鹿城崎間 金二十錢	八鹿津居山間 金二十錢	八鹿出石間 金二十五錢	八鹿豐岡間 金十五錢

○逓信省告示第千七百七十五號
本日ヨリ左記電話所ヲ設置シ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲモナサシム但シ開設期間ハ中宮祠郵便局閉鎖期間中トス
本電話所ノ加入區域外通話區域及通常電話料ハ中宮祠郵便局ト同一トス

明治四十三年十一月一日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千七百七十六號
明治三十三年ハ逓信省告示第百十四號電話呼出地域中左記箇所ニ達スル電話料前納證書ノ送達ハ周年之レカ取扱ヲナスコトトシ本日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月一日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千七百七十七號
本月六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月一日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千七百七十八號
本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月一日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千七百七十九號
本月五日限リ左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十三年十一月一日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千八百八十號
本月十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十三年十一月四日
逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十三年十一月 告示 逓信省第千七百七十七號 第千七百七十八號 第千七百七十九號 第千八百八十號 二二六七

○逓信省告示第千八百八十一號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

逓信大臣 男爵後藤新平

開設局	加入	入	區	字
東京	豐岡	入間郡	大字	扇町屋
同	同	北足立郡	大字	黒須
同	同	北埼玉郡	大字	所澤町
同	同	入間郡	大字	久米
同	同	所澤町	大字	上野井
同	同	所澤町	大字	上新井
同	同	小手指村	同	字金山
同	同	同	同	字水宿
同	同	同	同	字中野、同境、同三ツ井

○逓信省告示第千八百八十二號

羅馬締結萬國郵便條約施行規則第四條各國貨幣佛貨相當額表中サンシパールノ項ヲ左ノ通改ム

明治四十三年十一月四日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千八百八十三號
今般佛蘭西國ハ其ノ全殖民地ノ爲明治三十九年十一月三日獨逸國伯林ニ於テ締結セラレタル國際無線電信條約ニ加入シタリ

明治四十三年十一月四日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千八百八十四號

本月六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月四日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 春江郵便局 位 置 福井縣坂井郡春江村

○逓信省告示第千八百八十五號

明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月六日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月四日

逓信大臣 男爵後藤新平

「越前國今立郡粟田部村」ノ項ノ次ニ

越前國坂井郡春江村大字江留上、同江留下、同境村同爲國

○逓信省告示第千八百八十六號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月六日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月四日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外	一通話ノ通	加入區域外	一通話ノ通
常電話料	常電話料	常電話料	常電話料
春江福井間	春江福井間	春江福井間	春江福井間
春江三國間	春江三國間	春江三國間	春江三國間
金十錢	金十五錢	金十五錢	金十錢
春江三國間	春江三國間	春江三國間	春江三國間
金十錢	春江九國間	春江九國間	春江九國間
春江三國間	春江九國間	春江九國間	春江九國間
金十錢	春江九國間	春江九國間	春江九國間
春江三國間	春江九國間	春江九國間	春江九國間
金十錢	春江九國間	春江九國間	春江九國間
春江三國間	春江九國間	春江九國間	春江九國間
金十錢	春江九國間	春江九國間	春江九國間

○逓信省告示第千八百八十七號

本月六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月四日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 西春近郵便局

位 置 長野縣上伊那郡西春近村

○逓信省告示第千八百八十八號

本月十一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ大村、伊萬里各電信取扱所ニ於テハ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十三年十一月五日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 岩屋電信取扱所

位 置 佐賀縣東松浦郡藤木村岩屋停車場(鐵道院)(藤木區)

岩屋電信取扱所

佐賀縣東松浦郡藤木村岩屋停車場(鐵道院)(藤木區)

明治四十三年十一月 告示 逓信省第千八百九十九號 第千九百九十一號

二七〇

大村電信取扱所 長崎縣東彼杵郡大村大村停車場(同)(大村郵便局)
伊萬里電信取扱所 佐賀縣西松浦郡大坪村伊萬里停車場(同)(伊萬里郵便局)

○逓信省告示第千八百八十九號
本月二十一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置
長島電信取扱所 三重縣桑名郡長島村長島停車場(鐵道院)(長島郵便局)
河原田電信取扱所 三重縣三重郡河原田村河原田停車場(同)(河原田郵便局)
穂積電信取扱所 岐阜縣本巢郡穂積村穂積停車場(同)(穂積郵便局)
加佐登電信取扱所 三笠縣鈴鹿郡高津瀬村加佐登停車場(同)(高津瀬郵便局)

○逓信省告示第千九百九十九號

本月六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十三年十一月五日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置
長野郵便局 大阪府南河内郡長野町 高瀬郵便局 熊本縣玉名郡高瀬町
箕面郵便局 大阪府豐能郡箕面村 高鍋郵便局 宮崎縣兒湯郡高鍋町

○逓信省告示第千九百九十一號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

明治四十三年十一月五日

逓信大臣 男爵後藤新平

監督局	開設局	大阪府	加	南河内郡	入	長野町	大字	長野
大阪	長野	大阪府	豐能郡	箕面村	大字	西小	野	字野作
同	箕面	熊本縣	玉名郡	高瀬町	大字	岩根	木	
熊本	高瀬	宮崎縣	兒湯郡	高鍋町	大字	立丸	寺	字南出
同	高鍋	上江村	同	同	同	北高	同	字石原、同鉄、同新小路 字小九、同道具小路、同高 字島田、同黒谷、同高月、 同平氣、同中島、同下小 同下道、同中小路、同上小路

○逓信省告示第千九百九十二號
明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月六日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月五日

逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十三年十一月 告示 逓信省第千九百九十二號

二七一

明治四十三年十一月 告示 逓信省第千九百九十三號 第千九百九十四號 第千九百九十五號 第千九百九十六號

二七三

加入區域外
通話區域
小城久留米間

一通話ノ通
常電話料
金二十錢

加入區域外
通話區域
小城久留米間

一通話ノ通
常電話料
金二十錢

○逓信省告示第千九百九十三號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通改正ノ本月六日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月五日

逓信大臣 男爵後藤新平

監督局 開設局

京都府 加

何鹿郡

入 物部村

大字物部

字物部、同天野、同下片田、同上岸田、同渡訪、同

大阪 物部

同 新 庄

同 西 坂

同 新 庄

同 新 庄

字西保、同桑ノ枝

○逓信省告示第千九百九十四號

本月六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月五日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱

位 置

小野郵便局

兵庫縣加東郡小野村

名 稱

位 置

宮岡郵便局

徳島縣那賀郡宮岡町

印南郵便局

和歌山縣日高郡印南町

○逓信省告示第千九百九十五號

本月六日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月五日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千九百九十六號

明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加ノ本月六日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月五日

逓信大臣 男爵後藤新平

「播磨國多可郡津萬村」ノ項ノ次ニ

播磨國加東郡小野村大字小野、同垂井

「備前國兒島郡小串村」ノ項ノ次ニ

備前國上道郡財田村大字乙多見、同下村、同土田、同長岡、同長利、同米田、同神下、古郡村大字庚甘(字口矢津、同庚矢津ヲ除ク)、同宿村

○逓信省告示第千九百九十七號

明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加並改訂ノ本月六日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月五日

逓信大臣 男爵後藤新平

追 加

「阿波國板野郡瀬戸村」ノ項ノ次ニ

阿波國那賀郡宮岡町大字宮岡町、同石塚村

「紀伊國東牟婁郡太地村」ノ項ノ次ニ

紀伊國日高郡印南町大字印南

改 訂

丹波國何鹿郡物部村大字物部ノ内「字岡ノ島」ヲ除ク

○逓信省告示第千九百九十八號

明治三十九年八月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加ノ本月

六日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月五日

逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十三年十一月 告示 逓信省第千九百九十七號 第千九百九十八號

二七三

明治四十三年十一月 告示 逓信省第千九百九十九號 第千二百號

加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料
小野大段間	金二十五錢	長岡(通)姫路間	金二十五錢	長岡(通)高松間	金二十五錢
小野神戶間	金二十五錢	長岡(通)岡山間	金二十五錢	長岡(通)尾松間	金二十五錢
小野舞子間	金二十錢	長岡(通)津山間	金二十五錢	富田(通)美濃間	金二十五錢
小野明石間	金二十五錢	長岡(通)赤松間	金二十五錢	富田(通)小豆間	金二十五錢
小野(通)姫路間	金二十五錢	長岡(通)早島間	金十五錢	富田(通)石井間	金二十錢
小野江井ヶ島間	金十五錢	長岡(通)妹尾間	金十五錢	富田(通)大阪間	金二十五錢
小野三木間	金十錢	長岡(通)西大寺間	金十錢	富田(通)新宮間	金二十五錢
小野(通)方間	金十錢	長岡(通)茶屋町間	金十五錢	富田(通)和歌山間	金二十五錢
小野(通)包間	金十錢	長岡(通)天城間	金十五錢	富田(通)和歌山間	金二十五錢
小野(通)高砂間	金十五錢	長岡(通)八波間	金十五錢	富田(通)和歌山間	金二十五錢
小野(通)西陽間	金十錢	長岡(通)小中間	金十錢	富田(通)和歌山間	金二十五錢
長岡(通)大段間	金四十五錢				
長岡(通)神戶間	金三十五錢				

○逓信省告示第千九百九十九號
本年十月十四日ヨリ左記郵便局ヲ移轉セリ
明治四十三年十一月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百號
明治四十三年十一月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

トトリボリ
「トトリボリ」ヲ經由スル同國宛ノ電報ニ付テハ運送ノ費ニ任セズ
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百一號
明治四十三年十一月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

第一表 Africa (亞弗利加地方)ノ部中「Tripoli (トリボリ)」ノ項ノ次ニ左ノ通加ヲ
Tripoli (Via Guelmich) 經由スルニ付テハ運送ノ費ニ任セズ
1x10 1x10

第二表 Africa (亞弗利加地方)ノ部中「Tunis (突尼斯)」ノ項ノ次ニ左ノ通加ヲ
Tunis (Via Guelmich) 經由スルニ付テハ運送ノ費ニ任セズ
1x10 1x10

同表同部中「French Congo (佛領コンゴ)」ノ項ノ次ニ左ノ通加ヲ
French Congo (Via Guelmich) 經由スルニ付テハ運送ノ費ニ任セズ
1x10 1x10

○逓信省告示第千二百二號
明治四十三年十一月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百三號
明治四十三年十一月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

本日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス
明治四十三年十一月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十三年十一月 告示 逓信省第千二百一號 第千二百二號 第千二百三號
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百四號

本月十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十三年十一月七日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱
名 稱
名 稱

位 置
位 置
位 置

名 稱
名 稱
名 稱

位 置
位 置
位 置

○逓信省告示第千二百五號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ追加ス

明治四十三年十一月七日

逓信大臣 男爵後藤新平

監督局 開設局
名古屋 舉母

愛知縣 加 西加茂郡 舉母町

入 舉母町

大字 舉母 字下ノ町、同樹木同小坂

同 梅 部 同 寺 部

同 大 渡

愛知縣 碧海郡 旭棚尾村

旭棚尾村

大字 平七 (字中山ヲ除ク)

同 伏見屋 (字下池ノ島、同中池ノ島、同上池ノ島)

同 内 海

愛知縣 知多郡 内海町

内海町

大字 新 知 (字内藤寺ヲ除ク)

同 佐布里 字西崎、同筒井

同 岡 田

愛知縣 知多郡 岡田町

岡田町

大字 新 知

同 佐布里

同 木 本

三重縣 南牟婁郡 木本町

木本町

大字 大 井 戸

(字平嶺、同新田、同中野田、同切立、同大塚ヲ除ク)

同 犬 山

愛知縣 丹羽郡 犬山町

犬山町

大字 有 馬 山

字馬留、同松原、同松岡、同馬ノ月、同井本、同字羽市木、同口有馬

同 龜 山

三重縣 鈴鹿郡 龜山町

龜山町

大字 龜 山 江 々 室

同 龜山東九

同 龜 山

同 龜山西九

同 龜山市ヶ坂

同 龜山中屋敷

同 龜山若山

同 龜 山

同 龜山南崎

同 龜山北山

同 龜山北野村

同 龜山東野村

同 龜 山

同 龜山東野村

同 龜山西野村

同 龜山東町

同 龜山西町

同 龜 山

同 龜山東町

同 龜山西町

同 龜山東口

同 龜山西口

同 龜 山

同 龜山東口

同 龜山西口

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜 山

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜 山

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜 山

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜 山

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜 山

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同 龜山西京口

同	引木	三重縣	北牟婁郡	引木町	大字	引木	宇引木、岡長、宇相賀、同渡利
同	豐川	愛知縣	寶飯郡	豐川町	大字	豐川	
同	牛久保町				同	牛久保	(宇代田ヲ除ク)
同					同	谷	
同					同	牧	
同					同	北	
同					同	古	
同					同	金	
同					同	屋	
同					同	野	
同					同	川	
同					同	中	

○逓信省告示第千二百六號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十三年十一月七日

名稱 丸岡郵便局 位置 福井縣坂井郡丸岡町

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百七號

本月十一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ城野電信取扱所ニ於テハ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十三年十一月七日

名稱 城野電信取扱所 位置 福井縣金谷郡金谷町

逓信大臣 男爵後藤新平

名稱 鹿兒島縣給其郡重富村重富停車場(鐵道院) 位置 鹿兒島縣給其郡重富村

○逓信省告示第千二百八號

本月二十一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ篠栗、八幡、大隈、二日市各電信取扱所ニ於テハ電報

配達事務ヲ取扱ハス

明治四十三年十一月七日

逓信大臣 男爵後藤新平

- 名稱 新延電信取扱所 位置 福岡縣鞍手郡西川村新延停車場(鐵道院)
- 名稱 篠栗電信取扱所 位置 福岡縣粕谷郡篠栗村篠栗停車場(鐵道院)
- 名稱 八幡電信取扱所 位置 福岡縣遠賀郡八幡町八幡停車場(鐵道院)
- 名稱 大隈電信取扱所 位置 福岡縣嘉穂郡大隈町大隈停車場(鐵道院)
- 名稱 二日市電信取扱所 位置 福岡縣筑紫郡二日市町二日市停車場(鐵道院)

○逓信省告示第千二百九號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月七日

逓信大臣 男爵後藤新平

名稱 發生川郵便局 位置 滋賀縣甲賀郡北袖村 名稱 麻生津郵便局 位置 和歌山縣那賀郡麻生津村

○逓信省告示第千二百十號

本月十日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十三年十一月七日

逓信大臣 男爵後藤新平

名稱 發生川電信取扱所 位置 滋賀縣甲賀郡發生川村 名稱 名手電信取扱所 位置 和歌山縣那賀郡名手村

○逓信省告示第千二百十一號

本月十日ヨリ同月十三日迄左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月八日

逓信大臣 男爵後藤新平

名稱 香取郵便局 位置 岡山縣和氣郡香取村

明治四十三年十一月 告示 遞信省第千二百十二號 第千二百十三號 第千二百十四號 第千二百十五號 第千二百十六號 二二八〇

○遞信省告示第千二百十二號
本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月八日
名 稱 位 置 遞信大臣 男爵後藤新平
御寺郵便局 廣島縣豐田郡南生口村 室崎郵便局 長崎縣南高來郡室崎村

○遞信省告示第千二百十三號
本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス但シ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十三年十一月八日
名 稱 位 置 遞信大臣 男爵後藤新平
函館若松郵便局 函館區若松町

○遞信省告示第千二百十四號
郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

香港洋銀	一ダラー	九二八五〇	一圓ニ付一「ダラー」〇七「セント」
銀	一ダラー	九三〇七五	一圓ニ付一「ダラー」〇六「セント」

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

○遞信省告示第千二百十五號
神奈川縣武藏國横濱港口本牧沖假設掛燈浮標ハ點火休止ノ處(本年十月)遞信省告示第千二百三十號參照)從前ノ通點火セリ

明治四十三年十一月八日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百十六號
明治四十三年十一月八日ヨリ同月十三日迄遠江國鷺津ヲ船舶検査臨時執行地トシ船舶検査法ニ依

リ検査ヲ受クヘキ船舶ノ検査ヲ執行ス

明治四十三年十一月八日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百十七號
本月十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十三年十一月九日
現名稱 菅田郵便局 改稱 北郷郵便局
遞信大臣 男爵後藤新平
位 置 栃木縣足利郡北郷村

○遞信省告示第千二百十八號
本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月九日
名 稱 位 置 遞信大臣 男爵後藤新平
常盤郵便局 長野縣下水内郡常盤村

○遞信省告示第千二百十九號
本月十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス

明治四十三年十一月九日
現 名 稱 位 置 遞信大臣 男爵後藤新平
飯田大橋町郵便局 長野縣下伊那郡飯田町 大字飯田字大橋町 飯田知久町郵便局 長野縣下伊那郡飯田町 大字飯田字知久町

○遞信省告示第千二百二十號
本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月九日
名 稱 位 置 遞信大臣 男爵後藤新平
室積郵便局 山口縣熊毛郡室積町 宮濱郵便局 神奈川縣足柄下郡宮濱村
二ノ宮郵便局 神奈川縣中郡吾妻村

明治四十三年十一月 告示 遞信省第千二百十七號 第千二百十八號 第千二百十九號 第千二百二十號 二二八一

○逓信省告示第千二百二十一號

明治三十三年八月逓信省告示第百十四號電話呼出地域中左ノ通追加レ本月十一日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

「周防國都濃郡下松町」ノ項ノ次ニ

周防國都濃郡下松町大字室積浦字宮前、同向町、同北町、同江ノ浦、同南町、同宮崎、大字室積村字新市、同市場、同洞戸、同西ノ渡、同原、同澄田、同船戸、同松原、同東ノ庄、同市延、同正木、同西ノ庄、同東町

「相模國足柄下郡土肥村」ノ項ノ次ニ

相模國中郡香妻村大字二宮、同山西(字釜野ヲ除ク)、同府村大字國府新寄、相模國足柄下郡吉賀村大字吉賀(字川瀬ヲ除ク)

○逓信省告示第千二百二十二號

明治三十九年六月逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及通話電話料中左ノ通追加レ本月十一日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一 通話ノ 通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ 通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ 通 常電話料
長室積大阪間	金一圓	二宮橫須賀間	金二十錢	吉賀國府津間	金十五錢
長室積廣島間	金二十五錢	二宮鎌倉間	金二十錢	吉賀新根湯水間	金十五錢
長室積下關間	金四十錢	二宮大磯間	金二十錢	吉賀新根宮ノ下間	金十五錢
室積柳井間	金十錢	二宮國府津間	金五錢	吉賀新根町間	金十五錢
室積平生間	金十錢	二宮小田原間	金五錢	吉賀小田原間	金十五錢
室積山間	金十五錢	二宮藤澤間	金十五錢	吉賀伊東間	金十五錢
室積防府間	金二十錢	二宮平塚間	金十五錢	吉賀熱海間	金十五錢
室積田布施間	金十錢	二宮厚木間	金十五錢	吉賀熱海代間	金十五錢
二宮東京間	金二十五錢	吉賀東京間	金三十錢	吉賀湯ヶ原間	金十五錢
二宮橫濱間	金二十錢	吉賀橫濱間	金二十五錢		

○逓信省告示第千二百二十三號

明治四十年九月逓信省告示第百六十九號本邦ト國際逓信切手券ヲ交換スル國名表中左ノ通改正ス

明治四十三年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

一佛蘭西殖民地ノ項中「コート、ヂヴオール」ノ次ニ「アマリ」海岸ヲ「オセアニー」佛蘭西殖民地ノ次ニ「レユニオン」ヲ加フ

一南亞弗利加大不列顛殖民地ノ項中「ズルランド」ノ次ニ「オレンヂ、リヴァー」殖民地ヲ加フ

○逓信省告示第千二百二十四號

本月十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十三年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

名稱 富田林郵便局

位置 大阪府南河内郡富田林町

○逓信省告示第千二百二十五號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

明治四十三年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

監督局	開設局	加入	區
大阪府	南河内郡	富田林町	大字 富田林
大阪府	加	新堂村	同 毛入谷
大阪府	加	川西村	同 新堂
大阪府	加	彼方村	同 甲田
大阪府	加	大伴村	同 板持
大阪府	加		同 山中田
			字北甲田、同谷川

○逓信省告示第千二百二十六號

本月十一日ヨリ左記郵便局ヲ設置シ電信事務ヲモ取扱フ但シ陸軍特別大演習大本營構内ニ發受スルモノノ外取扱ハス

當該郵便局ニ於テハ郵便爲替郵便貯金郵便物配達事務ヲ取扱ハス

明治四十三年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百二十七號

本月十四日ヨリ同月十六日迄左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲナサス

明治四十三年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百二十八號

明治三十九年六月逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月十四日ヨリ同月十六日迄施行ス

明治四十三年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料
長真金東京間	金一圓七十五錢	長真金東京間	金一圓七十五錢	長真金東京間	金一圓七十五錢
長真金大阪間	金五十五錢	長真金大阪間	金五十五錢	長真金大阪間	金五十五錢
長真金神戶間	金四十五錢	長真金神戶間	金四十五錢	長真金神戶間	金四十五錢
長真金姫路間	金二十五錢	長真金姫路間	金二十五錢	長真金姫路間	金二十五錢
長真金岡山間	金二十五錢	長真金岡山間	金二十五錢	長真金岡山間	金二十五錢
加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料
長真金東京間	金一圓七十五錢	長真金東京間	金一圓七十五錢	長真金東京間	金一圓七十五錢
長真金大阪間	金五十五錢	長真金大阪間	金五十五錢	長真金大阪間	金五十五錢
長真金神戶間	金四十五錢	長真金神戶間	金四十五錢	長真金神戶間	金四十五錢
長真金姫路間	金二十五錢	長真金姫路間	金二十五錢	長真金姫路間	金二十五錢
長真金岡山間	金二十五錢	長真金岡山間	金二十五錢	長真金岡山間	金二十五錢

○逓信省告示第千二百二十九號

明治三十九年六月逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ同月十八日迄施行ス

明治四十三年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料
長西大寺東京間	金一圓七十五錢	長西大寺東京間	金一圓七十五錢	長西大寺東京間	金一圓七十五錢
長西大寺玉島間	金二十五錢	長西大寺玉島間	金二十五錢	長西大寺玉島間	金二十五錢
長西大寺福山間	金二十五錢	長西大寺福山間	金二十五錢	長西大寺福山間	金二十五錢
長西大寺廣島間	金二十五錢	長西大寺廣島間	金二十五錢	長西大寺廣島間	金二十五錢
加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料
長西大寺東京間	金一圓七十五錢	長西大寺東京間	金一圓七十五錢	長西大寺東京間	金一圓七十五錢
長西大寺玉島間	金二十五錢	長西大寺玉島間	金二十五錢	長西大寺玉島間	金二十五錢
長西大寺福山間	金二十五錢	長西大寺福山間	金二十五錢	長西大寺福山間	金二十五錢
長西大寺廣島間	金二十五錢	長西大寺廣島間	金二十五錢	長西大寺廣島間	金二十五錢

○逓信省告示第千二百三十號

本月十一日ヨリ同月十八日迄左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月十日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百三十一號

明治三十三年八月逓信省告示第百三十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ同月十八日迄施行ス

明治四十三年十一月十日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百三十二號

明治三十九年六月逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ同月十八日迄施行ス

明治四十三年十一月十日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 逓信區域	一通話ノ通 常電話料	加入區域外 逓信區域	一通話ノ通 常電話料
神邊路間	金四十錢	神邊真金間	金二十五錢
神邊倉敷(中)間	金二十錢	大門總社間	金二十錢
神邊五島間	金二十五錢	大門長岡間	金二十五錢
神邊西大寺間	金二十五錢	大門真金間	金二十五錢
神邊撫州間	金二十五錢	大門五島間	金二十五錢
神邊總社間	金二十五錢	大門西大寺間	金二十五錢
神邊長岡間	金二十五錢	大門笠岡間	金十錢
		大門葛山間	金二十五錢

○逓信省告示第千二百三十三號
本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月十日

逓信大臣 男爵後藤新平
位 區
和歌山縣那賀郡麻生津村

○逓信省告示第千二百三十四號

明治三十三年ハ逓信省告示第百二十四號電話呼出地域中左ノ通過加シ本月十一日ヨリ施行ス
明治四十三年十一月十日

逓信大臣 男爵後藤新平

近江國大上郡豐郷村ノ項ノ次ニ
近江國甲賀郡長野村大字長野同江田

紀伊國那賀郡名手村大字名手市場野宿村
紀伊國那賀郡麻生津村大字北浦同麻生津中同横谷同西脇(字取岩同畑同天神原ノ除ク)

○逓信省告示第千二百三十五號
明治三十九年ハ逓信省告示第百六十四號加入區域外逓信區域及通常電話料中左ノ通過加シ本月

十一日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月十日

加入區域外 逓信區域	一通話ノ通 常電話料	加入區域外 逓信區域	一通話ノ通 常電話料
信樂京都間	金二十錢	名手粉河間	金二十五錢
信樂大津間	金十五錢	名手和歌浦間	金二十錢
信樂水口間	金十錢	名手妙寺間	金十錢
信樂守庄間	金十錢	名手名倉間	金十錢
名手大坂間	金二十五錢	名手橋本間	金十五錢
名手和歌山間	金二十錢	名手麻生津間	金二十五錢
名手日方間	金二十錢	麻生津大坂間	金二十五錢
名手五條間	金二十錢	麻生津和歌山間	金二十錢

○逓信省告示第千二百三十六號
明治三十九年ハ逓信省告示第百六十四號加入區域外逓信區域及通常電話料中左ノ通過加シ本月

十一月ヨリ施行ス

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外
逓信區域

○逓信省告示第千二百三十七號

明治四十年ハ逓信省告示第百七十四號諸外國宛通常郵便物料金表中「一、郵便料」「第二郵便聯
合外諸國」ノ部ヲ左ノ通改正ス

明治四十三年十一月十日

逓信大臣 男爵後藤新平

一第五項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
五ノ二馬來諸洲(Malaya, Siam, Indo-China) (南洋羣島) 海峽殖民地